平成　年　月　日	課 長	課長補佐	係 長	合 議	審査者	設計者	検 算

工　事　設　計　書

工 事 名　　倉吉市営温水プール改修（機械設備）工事

工事場所　　倉吉市駄経寺町

一　　金　　円　　（内消費税及び地方消費税額　　円）

内　　訳

工 事 の 概 要	起 工 理 由
平成13年6月建築、S造平屋建、延床面積　2,283.14㎡ ・結露防止対策工事に伴う機械設備工事	

倉吉市営温水プール改修（機械設備）工事 工事内訳書

構 造 概 要　鉄骨造　平屋建て

金　　円也

延　面　積　2,283.140　㎡

名　　称	規　　格	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
A．機械設備工事		1	式			
直 接 工 事 費						
B.共 通 仮 設 費		1	式			
純　工　事　費						
C.現 場 管 理 費		1	式			
工　事　原　価						
D.一 般 管 理 費		1	式			
工　事　価　格						
E.消費税相当額	８％	1	式			
総　合　計						

株式会社　白兎設計事務所

名　　称	規　　格	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
A．機械設備工事						
1．改修工事		1	式			
2．撤去工事		1	〃			
3．産業廃棄物処分費		1	〃			
4．直接仮設費		1	〃			
小　　計						

名　　称	規　　格	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1．改修工事						
ａ．冷暖房設備		1	式			
ｂ．換気設備		1	〃			
ｃ．除湿設備		1	〃			
ｄ．計装設備		1	〃			
ｅ．空冷ヒートポンプチラー修理		1	〃			
ｆ．衛生設備		1	〃			
小　　計						

名　　称	規　　格	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
a．冷暖房設備						
排水・硬質ﾎﾟﾘ 塩化ﾋﾞﾆﾙ管	屋内一般　　ＶＰ　　５０Ａ	8	m			
〃	〃　　〃　　４０Ａ	15	〃			
〃	〃　　〃　　３０Ａ	5	〃			
〃	〃　　〃　　２５Ａ	43	〃			
〃	〃　　〃　　２０Ａ	52	〃			
ボール弁	ＰＶＣ製　　２０Ａ	38	個			
軟質塩化ビニルホース（網入り）	１９mm	19	m			
天井点検口	450□　内外枠共額縁 一般ﾀｲﾌﾟ ｱﾙﾐ製	18	個			
防露工事		1	式			
既設配管切断接続費		1	〃			
後施工アンカー工事		1	〃			
機器再取付費		1	〃			
小　　計						

名　　称	規　　格	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
b．換気設備						
工業用ロスナイ(顕熱タイプ)床置型	ＡＨＥＸ-6	1	基			
	処理笛量20,000m3/h					
片吸込シロッコファン　＃４　１／４	ＥＦ－４	1	台			
	処理笛量20,000m3/h					
ｽﾗｲﾄﾞｵﾝﾌﾗﾝｼﾞ工法 ﾀﾞｸﾄ	0.8㎜(750＜　≦1500)	33.6	m2			
硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ製ﾀﾞｸﾄ	250㎜	102	m			
〃	200㎜	58	〃			
〃	150㎜	304	〃			
〃	100㎜	104	〃			
チャンバーＢＯＸ	850×950×2916H	4	個			
風量調節 ﾀﾞﾝﾊﾟｰ	ＶＤ850×750	1	〃			
ﾓｰﾀｰﾀﾞﾝﾊﾟｰ	ＭＤ850×750	1	〃			
防露工事		1	式			
はりつ補修費		1	〃			
機器搬入据付費		1	〃			
後施工アンカー工事		1	〃			
プールダクトフランジ取換費		1	〃			
小　　計						

名　　称	規　　格	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ｃ．除湿設備						
空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁ室外機	ＡＣＯ-１	1	台			
	冷14.0kw 暖16.0kw					
空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁ室内機	ＡＣＯ－１－１	1	台			
外気処理用天井埋込型	冷14.0kw 暖12.0kw					
乾式除湿機	ＡＣＤ－１	3	台			
天井吊込型	除湿量1.1ﾘｯﾄﾙ/h					
乾式除湿機	ＡＣＤ－２	1	台			
天井吊込型	除湿量0.7ﾘｯﾄﾙ/h					
産業用除湿機	ＡＣＰ－Ｄ１	1	台			
天吊型除湿専用機	除湿量9.5ﾘｯﾄﾙ/h					
中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	ＥＦ－Ｄ１	1	台			

名　　称	規　　格	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
冷媒用被覆銅管	19.05外径(3/4B)　ｶﾞｽ管　厚20㎜以上	26	m			
〃	15.88外径(5/8B)　ｶﾞｽ管　厚20㎜以上	20	〃			
〃	12.7 外径(1/2B) 液管　厚10㎜以上	26	〃			
〃	9.52外径(3/8B)　液管　厚8㎜	20	〃			
配管用炭素鋼鋼管	屋内一般　　ＳＧＰ－白　　２０Ａ	23	〃			
ｽﾗｲﾄﾞｵﾝﾌﾗﾝｼﾞ工法 ﾀﾞｸﾄ	0.8㎜(750＜　≦1500)	3	m2			
ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ	400㎜	2	m			
〃	350㎜	2	〃			
〃	300㎜	2	〃			
〃	275㎜	10	〃			
〃	250㎜	26	〃			
〃	225㎜	15	〃			
〃	200㎜	10	〃			
〃	175㎜	37	〃			
〃	150㎜	21	〃			
〃	125㎜	79	〃			
〃	100㎜	8	〃			

名　　称	規　　格	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
チャンバーＢＯＸ	1250×500×550H 消音内貼り	2	個			
〃	800×450×450H 消音内貼り	1	〃			
〃	450×450×400H 消音内貼り	9	〃			
〃	350×350×300H 消音内貼り	3	〃			
丸型風量調節 ﾀﾞﾝﾊﾟｰ	VD350φ	1	個			
〃	VD150φ	8	〃			
ﾓｰﾀｰﾀﾞﾝﾊﾟｰ	MD250φ	2	〃			
ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙ形吹出口	ＶＨＳ（Ｆ付）250×250	6	〃			
〃	ＶＨＳ（Ｆ付）150×150	2	〃			
ｽﾘｯﾄ形吸込口	ＨＳ250×250	3	〃			
〃	ＨＳ150×150	1	〃			
ﾊﾟﾝｶｰﾙｰﾊﾞｰ	#7 ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ250φ直付ﾀｲﾌﾟ	8	〃			
壁付給排気ｸﾞﾘﾙ	φ150(風量調節機能付)	3	〃			
送風機用 たわみ継手	№2 以下　片吸込型	1	組			
SUS製深形ﾊﾟｲﾌﾟﾌｰﾄ(防虫アミ付)	175φ	3	個			
〃　〃	125φ	4	〃			
SUS製深形ﾊﾟｲﾌﾟﾌｰﾄ(ガラリ付)	125φ	3	〃			
〃　〃	75φ	1	〃			

名　　称	規　　格	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
防露工事		1	式			
穴あけ工事		1	〃			
機器搬入据付費		1	〃			
後施工アンカー工事		1	〃			
ＲＣ基礎工事		1	〃			
配管架台		1	〃			
小　　計						

名　　称	規　　格	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
d．計装設備						
EM-CEE-Sｹｰﾌﾞﾙ	1.25mm2-2C ﾋﾟｯﾄ・天井	107	m			
〃	1.25mm2-2C 管内	8	〃			
1種金属線ぴ(MM1)	A型(25.4mm)	8	m			
2個用ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ	A型(25.4mm)　1種金属線ぴ(MM1) 付属品	5	個			
ｺﾝﾋﾞﾈｰｼｮﾝｺﾈｸﾀ	A型(25.4mm)　1種金属線ぴ(MM1) 付属品	5	〃			
ﾎﾞｯｸｽｺﾈｸﾀ	A型(25.4mm)　1種金属線ぴ(MM1) 付属品	5	〃			
小　　計						

名　　称	規　　格	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
e．空冷ヒートポンプチラー修理						
圧縮機取換						
圧縮機	M50SC-L	1	式			
冷凍機油	フレオールα100　20Ｌ	3	缶			
圧縮機取り外し取付費		1	式			
モーターベアリング交換		1	〃			
試運転調整費		1	〃			
小　　計						

名　　称	規　　格	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ｆ．衛生設備						
器具撤去品再取り付け						
洋風便器取付	ﾛｰﾀﾝｸ式、　ｽﾊﾟｯﾄﾞ、紙巻器、床ﾌﾗﾝｼﾞ、便座	3	組			
和風便器(便器本体以外)	洗面器(2ﾊﾞﾙﾌﾞ混合栓、大)を適用	1	〃			
小便器	大　FV　　床ﾌﾗﾝｼﾞ、ｽﾊﾟｯﾄﾞ	2	〃			
掃除用流し		2	〃			
洗面器	水栓1個、大	2	〃			
洗面カウンター	洗面化粧台を適用(ブラケット取替含む)	2	〃			
化粧鏡	600×800㎜程度	2	〃			
ハンドドライヤー	手洗い器(壁掛けそで付き、水栓1個)を適用	2	〃			
Ｉ型手すり	鏡(600×800㎜程度)適用	3	〃			
小便器手すり	傾斜鏡を適用	1	〃			
ベビーチェアー	傾斜鏡を適用	2	〃			
壁埋込散水栓		1	〃			
小　　計						

名　　称	規　　格	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
2．撤去工事						
ａ．冷暖房設備		1	式			
ｂ．換気設備		1	〃			
ｃ．衛生設備		1	〃			
小　　計						

名　　称	規　　格	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
a．冷暖房設備						
機器撤去費		1	式			
小　　計						

名　　称	規　　格	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
b．換気設備						
長方形ﾀﾞｸﾄ撤去	0.8㎜　再使用しない	33.6	m2			
ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ(低圧、高圧1､2ﾀﾞｸﾄ) 撤去	250㎜　再使用しない	102	m			
〃	200㎜　再使用しない	58	〃			
〃	150㎜　再使用しない	304	〃			
〃	100㎜　再使用しない	104	〃			
チャンバーＢＯＸ撤去	850×950×2916H	4	個			
風量調節ﾀﾞﾝﾊﾟｰ (VD・MD)撤去	1.0㎡以下	2	〃			
機器撤去搬出費		1	式			
防露撤去費		1	〃			
小　　計						

名　　称	規　　格	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
c．衛生設備						
器具撤去(再使用する)						
洋風便器取付	ﾛｰﾀﾝｸ式	3	組			
和風便器(便器本体以外)	洗面器(水栓1個、水栓2個)を適用	1	〃			
小便器	ﾄﾗｯﾌﾟ付(着脱式含む)ｽﾄｰﾙ小便器	2	〃			
掃除用流し	ﾊﾞｯｸ付掃除流し	2	〃			
洗面器	水栓1個､大	2	〃			
洗面カウンター	洗面化粧台を適用	2	〃			
化粧鏡		2	〃			
ハンドドライヤー	手洗い器を適用	2	〃			
Ｉ型手すり	鏡を適用	3	〃			
小便器手すり	身障者用鏡を適用	1	〃			
ベビーチェアー	身障者用鏡を適用	2	〃			
壁埋込散水栓	大便器用洗浄弁を適用	1	〃			
小　　計						

名　　称	規　　格	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
3．産業廃棄物処分費						
ａ．処分工事		1	式			
ｂ．運搬工事		1	〃			
小　　計						

名　　称	規　　格	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
a．処分工事						
金属くず		3.46	t			
コンクリートガラ	無筋	0.3	〃			
ガラス及び陶器くず		1.73	m3			
小　　計						

名　　称	規　　格	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
b．運搬工事						
金属くず		3.46	t			
コンクリートガラ	無筋	0.3	〃			
ガラス及び陶器くず		1.73	m3			
小　　計						

名　　称	規　　格	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
４．直接仮設費						
ａ．機械室(2)作業用足場工事		1	式			
ｂ．プール内作業用足場工事		1	〃			
ｃ．一般屋内作業用足場工事		1	〃			
ｄ．屋外足場工事		1	〃			
ｅ．足場運搬費		1	〃			
小　　計						

名　　称	規　　格	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
a．機械室(2)作業用足場工事						
内部仕上足場						
掛払い手間	枠組棚足場 階高4.0m超5.0m未満	11.88	m2			
基本料 修理費含む(平屋用)	枠組棚足場 階高4.0m超5.0m未満 平家用	11.88	〃			
供用1日賃料 修理費含む	(2日×1台)	2	日			
小　　計						

名　　称	規　　格	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
b．プール内作業用足場工事						
内部仕上足場						
掛払い手間	枠組棚足場 階高4.0m超5.0m未満	6.48	m2			
基本料 修理費含む	枠組棚足場 階高4.0m超5.0m未満 平家用	6.48	〃			
供用1日賃料 修理費含む(2日×1台)	(2日×1台)	2	日			
小　　計						

名　　称	規　　格	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
c．一般屋内作業用足場工事						
"内部仕上足場						
(簡易型						
移動式足場)"						
掛払い手間	階高4.0m超5.0m未満	6.48	m2			
基本料 修理費含む(30日×２台)	階高4.0m超5.0m未満	6.48	〃			
供用1日賃料 修理費含む(30日×２台)	階高4.0m超5.0m未満	60	日			
小　　計						

名　　称	規　　格	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
d．屋外足場工事						
枠組本足場						
掛払い手間	建枠 900×1700　布枠500+240　12m未満	1.62	m2			
基本料 修理費含む(30日×２台)	建枠 900×1700　布枠500+240　12m未満	1.62	〃			
供用1日賃料 修理費含む(30日×２台)	建枠 900×1700　布枠500+240　12m未満	60	日			
小　　計						

名　　称	規　　格	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
e．足場運搬費						
仮設材運搬（枠組本足場）	建枠幅900(二枚布)	52.92	m2			
小　　計						

名　　称	規　　格	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
B.共 通 仮 設 費						
(率計上分)		1	式			
(率計上分計)						
小　　計						

現　場　説　明　書

平成 26 年 5 月 30 日改正

１　仕様書の適用について

この契約において適用する仕様書は、特に定めのない限り『公共建築改築工事標準仕様書（機械設備工事編　平成２５年版）』とする。

２　法令等の遵守について

（１）　建設業法、労働安全衛生法等の各種関連法令を遵守し、法令に抵触する行為は行わないこと。

（２）　建設業からの暴力団排除の徹底について

ア　工事の施工に際し、暴力団等の構成員又はこれに準ずる者から不当な要求や妨害を受けた場合は、監督員に速やかにその旨を報告するとともに、警察に届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。

イ　この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに監督員に協議すること。

（３）　工事現場に配置する技術者等（技術者等とは、現場代理人、追加技術者、主任技術者及び監理技術者をいう。）は、建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものでなければならない。

３　下請関係の適正化について

（１）　この契約に係る工事の的確な施工を確保するため、下請契約を締結しようとする場合は「建設産業における生産システム合理化指針」（平成３年２月５日付建設省経構発第２号建設省建設経済局長通知）及びその趣旨に則り、優良な専門工事業者の選定、合理的な下請契約の締結、代金支払等の適正な履行,適正な施工体制の確立、下請における雇用管理等の指導等を行い同指針の遵守に努めること。

（２）　受注者は、100万円以上の下請契約を締結した場合は「建設工事の下請報告について」（平成20年３月28日付第200700193464号鳥取県県土整備部長通知）に基づき、下請施工体系図及び建設工事下請報告書を提出しなければならない。

（３）　工事の一部を第三者に請け負わせる場合、又は工事に伴う交通誘導等の業務を第三者に委託する場合には、原則として市内に本店又は支店、営業所等を有する業者（以下「市内業者」という。）と契約すること。ただし、技術的に施工できる市内業者がない工事等を請け負わせ、又は委託する場合、あるいは市内業者で施工できても工程的に間に合わない等、特段の理由がある場合は、監督員に事前協議して市外業者と契約することができる。

（４）　建設業退職金共済制度への加入等

ア　建設業者は、建設業退職金共済制度（以下「建退共」という。）に加入すると共に、その建退共の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼付すること。ただし、下請を含むすべての労働者が、中小企業退職金共済制度、清酒製造業退職金共済制度、林業退職金制度のいずれかに既に加入済みで、建退共に加入することができないと認められる場合は、この限りでない。

イ　建設業者が下請契約を締結する際は、下請業者に対してこの制度の趣旨を説明し、原則として証紙を下請の延労働者数に応じて現物交付することにより、下請業者の建退共加入及び証紙の貼付を促進すること。なお、現物を交付することができない場合は、掛金相当額を下請代金中に算入することとし、契約書等に明記すること。

ウ　受注者は、工事現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を掲示すること。

４　労働者の福祉向上について

（１）　建設労働者の適切な賃金水準の確保、社会保険等（雇用保険、健康保険及び厚生年金保険）への加入など、労働者の福祉向上に努めること。なお、健康保険等の適用を受けない建設労働者に対しても、国民健康保険等に加入するよう指導に努めること。

（２）　下請契約の締結に際しては、下請業者へ法定福利費を内訳明示した見積書（標準見積書という。）の提示を求め、提示された場合にはこれを尊重するとともに、社会保険等の法定福利費などの必要経費を適切に考慮するように努めること。

現　場　説　明　書

5　労働安全衛生の確保について

労働災害のリスク低減のため、「建設工事における労働災害防止のためのリスクアセスメント等について」（平成23年９月30日付第201100099979号県土整備部長通知）に基づくリスクアセスメント等に積極的に取り組むこと。

6　建設資機材の使用について

(１)　工事に使用する資材については、「県土整備部リサイクル製品使用基準」（平成22年１月20日付第200900157785号県土整備部長通知）に基づくリサイクル製品がある場合は、原則これを使用すること。

(２)　リサイクル製品以外の工事に要する資材の使用順位は、次のとおりとする。

ア　県内産の資材がある場合は、県内産の資材を使用すること。

イ　県外産の資材を使用する場合は、県内に本社又は営業所、支店等を有する販売業者（以下「県内販売業者」という。）から購入した資材を使用すること。ただし、当該資材について県内販売業者がない場合は、この限りでない。

(３)　建設機械の使用について

ア　施工現場及びその周辺の環境改善を図るため、低騒音型・低振動型の建設機械を使用するよう努めること。

イ　工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む）又は建設機械等の燃料として、地方税法（昭和25年法律第226号）に違反する軽油等（以下「不正軽油」という。）を使用しないこと。

また、使用燃料の抜き取り検査を行う場合には、現場代理人がこれに立ち会うなど協力を行うとともに、不正軽油の使用が発見された場合には、当該燃料納入業者を排除するなどの是正措置を講じること。

(４)　ダンプトラック等による運搬について

ア　「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下「法」という。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体の設立状況を踏まえ、同団体への加入車の使用を促進するよう努めること。

イ　積載重量制限を超えて工事用資機材等を積み込まず、また積み込ませないようにするなど違法運行を行わせないようにすること。違法運行を行っている場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。

7　リサイクルの促進について

建設リサイクル法、「鳥取県県土整備部公共工事建設副産物活用実施要領」（平成22年９月13日付第201000087971号県土整備部長通知）に基づき建設副産物のリサイクル等に努めること。

8　消費税法及び地方消費税法の適正転嫁等について

下請契約及び資材購入等において、消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保のための消費税の転嫁を阻害する行為の是正等に関する特別措置法（平成25年法律第41号）で禁止された添加拒否等行為を行わないなど、適切な対応を行うこと。

9　その他

受注者は、工事請負代金額500万円以上の工事について、受注、変更、訂正及び完成時10日以内（ただし、工事請負代金額が2,500万円未満の工事にあっては、受注・訂正時）に工事実績情報サービス（CORINS）に工事実績情報の登録を行い、登録内容確認書を印刷して発注者に提出すること。

現　場　説　明　書

特記事項１

仕様書	①　平成26年6月30日時点で最新の仕様書によること。
工程	①（他工事等との調整）倉吉市営温水プール改修（機械設備）工事については、倉吉市営温水プール改修（建築主体）・（電気設備）工事と関連するので、相互の連絡調整を密にすること。 ~~②（部分完成、着工保留）　　については、　　まで　　（すること、しないこと）。~~ ③（　施　工　時　間　）　本工事の施工時間帯は、昼間施工（８：00～17：00）を見込んでいる。 ~~の施工時間は、　：　～　：　とする。~~ ~~④（施工時期選択制度）　この工事には、施工時期選択制度を適用する。工事完成期限は、　　までとし、実工事期間は　　日間とする。~~ ~~なお、契約締結日から着工日前日までの間に資材の搬入、仮設物の設置等の工事の着手を行ってはならない。~~ ~~⑤（鋼材の調達の遅れによる工期の延長）　この工事の工期には、鋼材調達期間として、○か月を見込んでいるが、受注者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。~~
用地関係	~~①（用地、物件等未処理）　本工事区間の＿＿＿＿には＿＿＿＿＿＿があるので、監督員と打合せのうえ施工を行うこと。~~ ~~なお、＿＿＿＿頃＿＿＿＿＿＿の予定である。~~
支障物件	~~①埋設物等の事前調査）　工事に係る地下埋設物等の事前調査については、〔未調査・調査済み〕である。~~ ~~②（支障物件）　＿＿＿＿＿＿の施工に当って、＿＿＿＿が支障となっているが、までに移設が完了する見込である。~~ ~~予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。~~ ~~③（立本の置き場所）　工事用地内の立本は伐採し、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿に置くこと。~~
公害対策	~~①（低騒音型・低振動型建設機械）　本工事のうち施工箇所：　　については、特に生活環境を保全する必要があるので、下記工種の施工に当たっては、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定（国土交通省告示。平成13年４月９日改正）に基づき指定された建設機械を使用するものとする。~~ ~~該当工種：＿＿＿＿＿＿、施工機械：＿＿＿＿＿＿~~
安全対策	~~①~~（交通安全施設等）　一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工すること。~~なお、交通整理の配置人員及び必要日数として、以下のとおり見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。~~ ~~交通誘導員Ａ　　人（交替要員〔有り・無し〕　　日　合計　　人~~ ~~交通誘導員Ｂ　　人（交替要員〔有り・無し〕　　日　合計　　人~~ ~~警備業法に規定する警備員を配置する場合における交通誘導員Ａ、交通誘導員Ｂの定義は次のとおりとする。~~ ~~交通誘導員Ａとは、警備業法第２条第４項に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第１条第４号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る１級検定合格警備員又は２級検定合格警備員をいう。また、交通誘導員Ｂとは、警備業法第２条第３項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員Ａ以外の交通の誘導に従事する者をいう。~~ ~~なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条第１項に規定する以外の者を配置し、安全教育、安全訓練等を十分に行うこと。この場合においては、交通誘導員Ｂを配置しているものとみなす。~~
工事用道路	~~①（農地の一時転用について）　本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する場合は、農地の一時転用が必要である。そのため、受注者は、「公共事業の施行に伴う附帯施設の設置に係る一時転用の取扱いについて」（平成24年10月15日付第201200109101号経営支援課長通知）に基づき、着手前に本工事が公共事業であることが証明された報告書を所轄農業委員会へ提出すること。~~
仮設物	
排水・濁水処理	~~①（濁水処理）　工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うこと。なお、図示した場合は、設計図書によることとする。~~

現　場　説　明　書

特記事項2

建設副産物の処理

【建設発生土（処理）】

①（他工事等流用）　建設発生土は、　市・町・村　地内の　工事現場に運搬（片道運搬距離　km）とするものとする。

②（建設技術センター）　建設発生土は　市・町・村　地内のセンター事業所に運搬（片道運搬距離　km)とするものとする。なお、処理費として１m³当たり　円をセンターに支払うこと。

センター事業所へ搬出する土砂の土質は、各事業所が指定している土質性状同等以上とすること。

（土質性状　（記載例）砂質土、コーン指数　300kN/m²以上）

③（自　由　処　分）　建設発生土は自由処分とし、片道運搬距離　km見込んでいる。

【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材（処理）】

④（分別解体等）　コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。その方法は、別表のとおりとする。なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。

コンクリート塊　１ｔ　当り　2,000円

アスファルト塊　１ｍ３当り　　円

建設発生木材　　１ｍ３当り　　円

⑤（他工事等流用）　〔Co塊・　　〕は、　市・町・村　地内　工事現場に運搬（片道運搬距離　km）するものとする。

⑥（再資源化施設へ搬出）　コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設への搬出を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。

再資源化施設業者と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにマニフェストを発行するものとする。

なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。

（施設の名称・受入れ費用）

コンクリート塊　倉吉市鴨川町地内の再資源化処理施設（運搬距離3.0km）、費用１ｔ当り3,000 円

アスファルト塊　倉吉市　地内の　（運搬距離　km）、費用１ｔ当り　　円

建設発生木材　　倉吉市鴨川町地内の再資源化処理施設（運搬距離3.0km）、費用１m²当り　円

その他（　　）　市・町・村　地内の　（運搬距離　km）、費用１ｔ当り　　円

（受入れ時間帯）　８時～17時（平日）

（受入れ条件）

ア　路盤材、土砂、金属片等が混入していないこと。

イ　コンクリート塊、アスファルト塊の径は、それぞれ　mm以下　mm以下であること。

ウ　建設発生木材に関しては、泥等の付着がないこと。

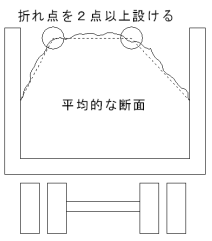
エ　２次公害発生のおそれのある物質（廃油等）を含まないこと。

⑦（本材市場等への売却）　建設発生木材は　市・町・村　地内の　への搬出（片道運搬距離　km）を想定し　円を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合の理由を付して協議すること。

⑧（最終処理等）　　については、　市・町・村　地内の産業廃棄物処理場への搬出（片道運搬距離　km）を想定し、その費用として１ｔ当り　円を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を防げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。

⑨（産業廃棄物の処理に係る税）　産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を　円見込んでいる。

⑩（建設発生木材の出来形数量）　建設発生木材の運搬量、搬出量は出来形数量に応じて設計変更を行う。そのため、次のとおり数量管理を行うこと。

工　種	項　目	規　格	摘　要
建設発生木材運搬量	現場において運搬車の計測を行うこと。 平均的な１断面を計測。 計測に当たっては、頂部に最低２箇所の折れ点を設けること。 断面積に荷台の延長を乗じて体積を算定する。	運搬車全数の測定を行うこと。また、10台に１台の割合で写真管理を行うこと。 ただし、搬出台数が10台に満たない場合は、２台以上写真管理を行うこと。	
建設発生木材搬出量	マニフェスト又は伝票管理を行うこと。	運搬車全数の管理を行うこと。	伝票は処分業者が発行したものでなければならない。

⑪（マニフェスト）　産業廃棄物の運搬又は処分を他人に委託するときは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づきマニフェストを作成すること。ただし、一般廃棄物や有価物は不要。

現　場　説　明　書

特記事項3

建設副産物の使用	①（建設発生土の使用）　　工事から［当該工事運搬・相手方運搬］の建設発生土を受入れ、使用箇所：　　に使用する。 ②（再生資材の使用） 1）　Co雑割材は、　　工事から運搬し、使用箇所：　　に使用する。 2）　アスファルト・コンクリート切削殻等は、　　工事から運搬し、使用箇所：　　に使用する。 3）　・再生クラッシャーラン［規格：　　］は、使用箇所：　　に使用する。 ・再生コンクリート砂［規格：RS-　　］は、使用箇所：　　に使用する。 4）　再生加熱アスファルト混合物［規格：　　］は、使用箇所：　　に使用する。 5）　その他再生資材［資材名：　　］［規格：　　］は、使用箇所：　　に使用する。
その他	①（境界杭・境界標）　本工事における道路上の全ての境界標は、必ず管理を行うこと。 ②（工事成績評定）　本工事は、災害等の初期活動で緊急かつ迅速な対応が不可欠である緊急応急工事に〔該当する・該当しない〕ため、工事評定の〔対象とする・対象としない〕。 ③（技能士常駐）　本工事には、下記のとおり鳥取県土木工事共通仕様書に基づく技能士常駐対象工種が含まれており、該当工種の作業期間は、技能士が工事現場に常駐しなければならない。 1）　技能士種別：　　技能士、該当工種：　　工、仕様書根拠：　1－　頁 2）　技能士種別：　　技能士、該当工種：　　工、仕様書根拠：　1－　頁 3）　技能士種別：　　技能士、該当工種：　　工、仕様書根拠：　1－　頁 ④（寒中コンクリート）　本工事は、寒中コンクリートとして施工を行わなければならない期間があるので、適正に実施すること。なお、寒中コンクリートの養生費用については、「寒中コンクリートの養生費用について」（平成23年12月7日付第201100123529号県土整備部長通知）に基づいて処理することとし、設計変更の対象とする。 ⑤（着工日）本工事は、平成26年10月1日を工事場所での着工日とする。

倉吉市営温水プール改修（ 機械設備）工事

図面番号	図面名称	縮尺
M－01	表紙	
M－02	機械設備工事仕様書（1）	－
M－03	機械設備工事仕様書（2）	－
M－04	配置図・付近見取図	－
M－05	冷暖房設備　改修　機器器具表	－
M－06	冷暖房設備　改修　1階配管図	1／100
M－07	換気設備　改修　機器器具表	－
M－08	換気設備　改修　1階配管図	1／100
M－09	換気設備　改修　機械室（2）配管図	1／50
M－10	換気設備　改修　機械室（2）断面図	1／50
M－11	除湿設備　改修　機器器具表　屋上室外機廻り詳細図 更衣室除湿機断面図	1／30，50
M－12	除湿設備　改修　屋上配管図	1／100
M－13	除湿設備　改修　1階配管図	1／100
M－14	除湿設備　改修　1階天井内環境改善配管図	1／100
M－15	計装設備　改修　1階配管図	1／100
M－16	計装設備　改修　屋上配管図	1／100
M－17	衛生設備　改修　撤去再取付器具表	1／100
M－18	天井点検口・仮設足場配置図	1／150

㈱白兎設計事務所

機械設備工事仕様書

Ⅰ．工事概要

1　工事場所　鳥取県倉吉市 駄経寺町　198番地2

2　建物概要

番号	建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積(㎡)	消防法施行令別表第一の区分	備考
1	倉吉市営温水プール	S造	1	2,283．14	（　　）項	既設改修
2					（　　）項	
3					（　　）項	
4					（　　）項	
5					（　　）項	

3　工事種目　（◉ 印の付いたものが対象工事種目）

工事種目＼番号	1	2	3	4	5	屋外	備考
● 空気調和設備							
◉ 冷暖房設備	○						
◉ 換気設備	○						
● 排煙設備							
◉ 自動制御設備	○						（除湿機器二次側配線）
◉ 衛生器具設備	○						既設撤去再取付
● 給水設備							
● 排水設備							
● 給湯設備							
● ガス設備							
● 浄化槽設備							
● 消火設備							
● さく井設備							
◉ 除湿設備	○						

4　設備概要　（本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。）

◉ 印の付いたものを適用する。

	項目		設備概要
空気調和・冷暖房設備	● 空気調和設備		● 単一ダクト方式　● 各階ユニット方式　● ダクト併用ファンコイルユニット方式
	◉ 冷暖房設備		◉ ファンコイルユニット方式（既設）　◉ パッケージ方式（外調機）　◉ 除湿機
	● 暖房設備		● 温水暖房　● 蒸気暖房　● 温風暖房（ ● 局所式　● 中央式 ）　● 床暖房
	◉ 熱源		◉ 電気　● 灯油　● A重油　● ガス　● バイオマス
	◉ 主要熱源機器		● 鋼製ボイラー　● 鋳鉄製ボイラー　● 真空式温水発生機　● 無圧式温水発生器　● バイオマスボイラー ● チリングユニット　● スクリュー冷凍機　● 遠心冷凍機　● 吸収式冷凍機 ● 直だき吸収式冷温水機　● 小形吸収式冷温水機ユニット　◉ 空冷ヒートポンプユニット ● ヒートポンプパッケージエアコン　● ルームエアコン ● 温風暖房機　● FF暖房機　● ペレットストーブ
換気設備			◉ 第一種　● 第二種　◉ 第三種
排煙設備			● 機械排煙（ 適用法規 ● 建基法　● 消防法 ）
自動制御設備			● 電気式　● 電子式　● デジタル式
衛生設備	◉ 給水設備	給水方式	◉ 水道直結方式　● 高置水槽方式　● ポンプ直送方式　● 増圧給水方式
		水源	◉ 水道水　● 井水
	● 排水設備	排水方式	● 自然流下　● ポンプ排水（ ● 汚水　● 雑排水　● 雨水 ）
		放流先 汚水	● 公共下水道　● 浄化槽　● 敷地内最終処理施設
		放流先 雑排水	● 公共下水道　● 浄化槽　● 敷地内最終処理施設
		放流先 雨水	● 公共下水道　● 側溝　● 河川
		浄化槽処理施設	● 小規模合併　● 合併
		処理水放流先	● 排水路　● 側溝　● 河川
	● 給湯設備		● 局所式（ ● ガス　● 油　● 電気 ）　● 中央式（ ● 油　● ガス ）
	● 消火設備		● 屋内消火栓　● 屋外消火栓　● 連結送水管　● 連結散水　● スプリンクラー ● 泡消火　● 粉末消火 ● 不活性ガス消火（ ● 窒素　● 窒素系　●　　）
	● ガス設備		● 都市ガス（　　MJ/Nm3 ）　● 液化石油ガス

Ⅱ．特記仕様

1　一般事項

（1）現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成２５年版）」（以下「標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（平成２５年版）」（以下「標準図」という。）による。ただし、改修工事については「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成２５年版）」（以下「改修標準仕様書」という。）による。

（2）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「機械設備工事監理指針（平成２５年版）」（以下「監理指針」という。）を適用する。

（3）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

2　特記事項

（1）項目は番号に ○ 印の付いたものを適用する。

（2）特記事項のうち選択する事項は ◉ 印の付いたものを適用する。

◉ 印の付かない場合は、 ※ 印の付いたものを適用する。 ◉ 印と ㊟ 印の付いた場合は両方を適用する。

（3）一般共通事項のうち （　　） 項は、 ● 建築　● 電気設備　工事仕様書による。

一般共通事項

項目	特記事項
①官公署その他への手続	工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続き、検査並びにその費用は、請負者の負担とする。
②電気保安技術者	工事現場におく電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事自家用電気工作物保安規程第５条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。なお、電気保安技術者の資格は標準仕様書第１編第１章第３節１．３．２によるものとし、一般用電気工作物にかかる工事についても、自家用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。
③工事安全計画書等	建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。
④発生材の処理等	引渡しを要するもの　※ 無し　● 有り（　　） 特別管理産業廃棄物　※ 無し　● 有り（　　） アスベスト含有設備資機材（ガスケット、パッキン、たわみ継手等）は関係法令に従い適切に処理を行う。 再生資源の利用を図るもの ※ 無し　● 有り（ ● コンクリート塊　● アスファルトコンクリート塊　● 建設発生木材　●　　）
⑤機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとする。また、製造者が定められている機材については、Ⅲ．機材によるほかこれらと同等以上のものとする。ただし、これらと同等以上のものとする場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料をあらかじめ監督職員に提出して承諾を受ける。 なお、（社）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業　設備機材等評価名簿」による場合は評価書の写しを監督職員に提出するものとする。
⑥機材の品質・性能証明	ＪＩＳマーク等のある機材を使用する場合は、標準仕様書第１編第１章第４節１．４．２（ｃ）により、品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略できる。ただし標準仕様書に規定される製作図、試験成績書等は除く。
⑦施工図等	提出した施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。
⑧完成写真等	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真の撮り方（改訂第３版）建築設備編」によるほか監督職員の指示による。下記のものを提出する。

区分	分類・規格	撮影箇所	部数	電子データ・ネガの提出
工事写真	カラーサービス判	各工種工程毎	※ 1部　● 部	● 要　● 不要
完成写真	カラーサービス判	監督職員の指示による	※ 2部　● 部	● 要　● 不要

⑨完成図等	次の図書を工事の完成引渡し時に監督職員に提出する。

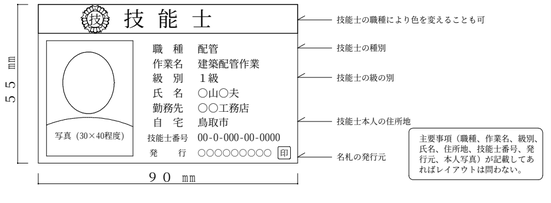
区分	名称	部数
※ 完成図原図	完成図　※ 原紙　※ CADデータ 施工図　● 原紙　● CADデータ	1部
※ 完成図　2つ折製本	※ 完成図原図の陽画複写紙 ※ 完成図原図の陽画複写紙（縮小版） ● 施工図原図の陽画複写紙	※　3部 ●　部
※ 完成図　2つ折製本 ※　A４版黒表紙製本 ◉　A４版市販ファイル	※ 完成図原図の陽画複写紙 ※ 主要機器図 ※ 試験成績書	※　2部 ●　部
※ 保守用説明書 （A４版ファイル）	※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表	※　2部 ●　部
※ 保証書		1部
※ 官公署の届出書類		1部

⑩技能士の適用	下記により適用する技能士は、適用する工事作業中、１名以上の者が自ら作業をするとともに他の技能者に対して施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。また、その技能士はそのものが技能士であることが分かる名札（下図参考）を常時着用すること。

◉ 配管　（◉ １級　● ２級 ）　◉ 熱絶縁施工　（◉ １級　● ２級 ）

◉ 冷凍空気調和機器施工　（ ● １級　◉ ２級 ）　◉ 建築板金　（ ● １級　◉ ２級 ）

《技能士名札参考図》

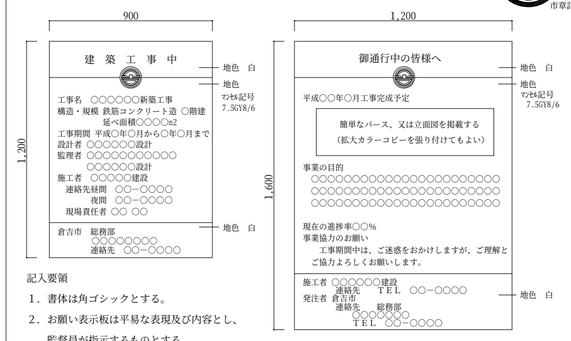


一般共通事項

⑪他工事との取合	

他工事との取り合い		建築	電気設備	機械設備
● コンクリート壁、床、梁貫通部	スリーブ・箱入	●	●	※
	補強	※	●	●
● 鉄骨造の開口及び補強		※	●	●
● 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート（くぎ処理共）		●	※	●
● 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地		●	※	●
● 埋込分電盤・端子盤・プルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮枠	●	※	●
	補強	※	●	●
● ＯＡフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		※	●	●
◉ 埋込形機器取付用の天井・壁の切込加工及び下地の補強	切り込み	●	●	※
	補強	※	●	◉
● 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ		※	●	●
● 電気室、自家発電室などの基礎及びピット（蓋を含む）		※	●	●
● テレビアンテナ	基礎	※	●	●
	アンカーボルト	●	※	●
◉ 天井点検口		※	●	◉
◉ 機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置	●	●	※
	屋上設置	※	●	◉
● 自立型制御盤の基礎		●	※	●
◉ 機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線		●	◉	※
◉ 機器用コントロールスイッチ（空調機、換気扇等）の取付及び配線		●	◉	㊟

⑫工事用水・電力	本工事に必要な工事用水、電力などの費用はすべて請負者の負担とする。
⑬表示板	設置する。（寸法等は下図による。建築工事、電気設備工事等と一括して表示する。） ㊟ 工事表示板　◉ お願い表示板



記入要領

1．書体は角ゴシックとする。

2．お願い表示板は平易な表現及び内容とし、監督員が指示するものとする。

⑭工事用仮設	構内に作ることが　※ 出来る　● 出来ない
⑮足場	足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省 基発第0424001号平成21年４月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。
16 土工事	（ア）埋め戻し土　● 根切土のなかの良質土（ ● コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類 ） ● 山砂の類（ 全て山砂類で埋める　　） ● 真砂土　（　　） （イ）建設発生土処分　● 構外に搬出　● 構内に敷ならし　● 構内の指示する場所に堆積
17 耐震措置	設備機器の固定は「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説」（平成８年版）（建設大臣官房官庁営繕部監修）によることとし、施工は「建築設備耐震設計・施工指針2005年版」（国土交通省国土技術政策総合研究所・(独)建築研究所監修）による。 建物の種別　● 特定の施設　● 一般の施設 重要機器　● 防災機器　● 火気を使用する機器　● タンク類
⑱図形等の表示	機器類は、図示する形状、配管等などの取出し位置及び製造品番により、特定製造者の製品を指示、限定しない。
⑲電気容量及び機器表示	電動機出力、燃料消費量等は、原則として図面に記載されている値以下とする。 機器類の能力、容量等は、原則として表示された値以上とする。
⑳機器附属の制御盤	◉ 製造者標準仕様とする　● 機器表特記による
㉑保温工事	● 冷温水管　（ ● ロックウール　● グラスウール　● ポリスチレンフォーム　●　　） ◉ 屋外露出冷媒管　（ ● ロックウール　◉ グラスウール(ＳＵＳラッキング)　　） ● ブライン管（ ● ポリスチレンフォーム　●　　） ● 給水管　（ ● ロックウール　● グラスウール　● ポリスチレンフォーム　●　　） ◉ 排水管　（ ● ロックウール　◉ グラスウール　● ポリスチレンフォーム　●　　） ● 給湯管　（ ● ロックウール　● グラスウール　●　　） ● 消火管　（ ● ロックウール　● グラスウール　● ポリスチレンフォーム　●　　） ◉ ダクト　（ ● ロックウール　◉ グラスウール　●　　） ※ 燃焼熱源等機械室内の配管の保温材には、（ ● ロックウール　● グラスウール ）を使用する。 ◉ 全熱交換機の給気ダクト（ ◉ 機器外気側　● 機器室内側 ）は保温（グラスウール５０㎜厚）する。
22 鋼管類の防食処置	地中埋設　● ペトロラタム系　● ブチルゴム系　● 熱収縮チューブ及びシート
23 絶縁継手	※ 絶縁フランジ　● 標準図（施工３）による
24 防振継手	※ 合成ゴム製（球形）　● ポリテトラフルオロエチレン製　● ベローズ形（ステンレス製）
25 伸縮管継手	※ ベローズ形　● スリーブ形

CHECKED BY

株式会社 白兎設計事務所

鳥取県知事　登録番号　第26-820
管理建築士（一級建築士登録番号　188521）　南　章彦

PROJECT. NO	DATE	
2013K−03	2014.03	一級建築士登録番号 第318668号 田中　一義
DRAWING. NO	SCALE	
M−02		

一般共通事項

	26 塗装	各種機材のうち、下記の部分は塗装しない。（さび止め塗装は除く。） 〔ア〕埋設されるもの（ただし、防食塗装部分を除く） 〔イ〕亜鉛めっき以外のめっき仕上げ鋼 〔ウ〕亜鉛めっきされたもので、常時隠ぺいされる部分 〔エ〕亜鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類 〔オ〕樹脂コーティング等を施したもので、常時隠ぺいされる部分 〔カ〕カラー亜鉛鉄板面 〔キ〕アルミニウム、ステンレス、銅、溶融アルミニウムー亜鉛鉄板面、合成樹脂製等、特に塗装に必要を認められない面 〔ク〕特殊な意匠的表面仕上げ処理を施した面 〔ケ〕主・各階機械室内等及び電気室内の亜鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管 ● 上記及び標準仕様書によらず塗装を施す部分・箇所（ ）
	27 ねじ加工	塩ビライニング鋼管等の防食措置を施した配管以外 ※ 切削ねじ ● 転造ねじ
		呼び径５０以下のポリ粉体鋼管 ※ 切削ねじ ● 転造ねじ
	28 ステンレス鋼管の接合方法	呼び径７５Ｓｕ以上の継手は ● 溶接継手 ● ハウジング形継手 ● フランジ接合
	29 溶接配管の検査	非破壊検査の適用（ ● 放射線透過検査 ● 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査 ） 抜取率（ ● 標準仕様書による ● ）
	30 埋設表示	● 地中埋設標を図示する箇所に設ける。 ● 埋設表示用テープを埋設する。（ ● ガス管 ◉ 屋外給水管 ● ）
	㉛支持金物・固定金具	ポンプ、屋外設置機器及びピット内に使用するアンカーボルト、ナットはステンレス製とする。 屋外及びピット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製または溶融亜鉛めっき仕上げとする。
	㉜総合調整	下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。 ● 温度 ◉ 湿度 ● 風量 ● 騒音 ● 水量 ● 浄化槽放流水質 ● 風速 ● じんあい ◉ 飲料水水質（◉ 一般飲料水適否検査 ◉ 残留塩素 ）
	33 アスベスト含有建材の処理	建築改修標準仕様書 ９章 環境配慮改修工事 １節 アスベスト含有建材の処理工事による。 処理を行うアスベスト含有建材の仕様等 建材の内容・箇所 / 仕様等 / 処理を行う範囲 ※ 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者であること。 ※ 官公署その他への手続きは、建築改修標準仕様書によるほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて必要な手続きを行う。 ● 施工調査（分析によるアスベスト含有建材の調査）を行う。 分析方法はＪＩＳ Ａ １４８１「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。 ● アスベスト粉じん濃度測定を行う。 （測定時期： 測定場所： 測定点： ）
		● 洗浄設備（洗眼、うがいの設備）及び更衣設備等を設ける。 ● 作業場の養生として、処理場所をプラスティックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。 対象箇所（ ）
	㉞補修など	工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修する。
	㉟はつり工事	既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。
	36 室内空気中の科学物質の濃度測定	実施する。
	㊲火災保険等	工事目的物及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害を補てんするための火災保険等に加入する。 （保険の加入期限は、工事完成引渡しまでとする。
	38 グリーン購入	グリーン購入は次のもとのとする。 ● 空調用機器（ ） ● 衛生器具（ ） ● 断熱材（ ） ● 配管材（ ● 再生硬質塩化ビニル管 ）
	39 鳥取県公共工事環境配慮指針	対象工事
	40 省エネ法	対象工事

1 空気調和設備 ② 冷暖房設備 ③ 換気設備

1	1 設計用温湿度条件	外気条件：夏季 温度 ［ ］℃（ＤＢ） 湿度 ５２．８％（ＲＨ）／冬季 温度 ６７．２℃（ＤＢ） 湿度 １９．０％（ＲＨ） 室内（ 調整目標値 ）一般：夏季 温度 ２８．０℃（ＤＢ） 湿度 ［ ］％（ＲＨ）／冬季 温度 ［ ］℃（ＤＢ） 湿度 ［ ］％（ＲＨ） 室内（ ）：夏季 温度 ［ ］℃（ＤＢ） 湿度 ［ ］％（ＲＨ）／冬季 温度 ［ ］℃（ＤＢ） 湿度 ［ ］％（ＲＨ）
	2 冷却水管	※ ＳＧＰ（白） ● ＳＧＰ－ＶＡ ● ＳＧＰ－ＰＡ
	3 冷水・温水・冷温水管	※ ＳＧＰ（白） ● ＳＧＰ－ＨＶＡ ● ステンレス鋼管 ● 架橋ポリエチレン管（ファンコイル機器接続部に限る） ● ポリブテン管（ファンコイル機器接続部に限る）
	4 膨張・空気抜・補給水管	※ ＳＧＰ（白） ● ステンレス鋼管
	5 蒸気給気管	※ ＳＧＰ（黒）
	6 蒸気還水管	※ ＳＴＰＧ３７０－Ｓｃｈ４０（黒） ● ステンレス鋼管
	7 油・油用通気管	一般配管 ※ ＳＧＰ（黒） 地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管
	⑧冷媒管	※ 断熱材被覆銅管 （保温厚については図中参照）
	9 ブライン管	※ ＳＧＰ（黒）
	10 空調用給水管	※ 給水設備の項による
	⑪空調用排水管	⊗ ＳＧＰ（白） ◉ ＶＰ
	12 弁類	※ ＪＩＳ又はＪＶ５Ｋ ● ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ

	13 ファンコイルユニット	※ 流量調整弁 ● 定流量弁（ ● ダイヤフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形 ）を取付ける。
	14 防煙ダンパー	防煙ダンパー ※ 電気式 ● 空気式 ダンパーの復帰機構 ※ 遠隔式 ● 手元式 電気式防煙ダンパーの動作用電圧、電流はＤＣ２４Ｖ、０．７Ａ以下とする。
	⑮ダクト	※ 低圧ダクト ● 高圧１ダクト ● 高圧２ダクト 長方形ダクト ※ コーナーボルト工法（ ● 共板工法 ● スライドオンフランジ工法 ） 長辺１５００㎜を超えるもの ※ アングルフランジ工法 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後１５０㎜を１．６㎜厚鋼板製とする。
	⑯吹出口・吸込口	ボックス ※ 亜鉛鉄板製 ● グラスウール製
	⑰チャンバー等	シーリングディフューザーの接続は、標準図（施工４７）を参考とする。 接続するダクトが施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。 線状吹出口には、（長さ＋１０）× ３００ × ３００Ｈの接続チャンバーを設ける。 外壁に面するガラリにチャンバー等を設ける場合には、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。
	⑱消音内貼り	吹出口接続チャンバー及び図示したダクト並びにチャンバー類に内貼りする。 内貼りチャンバー類の寸法は、外法寸法とする。
	19 瞬間流量計及び流量測定口	形式はピトー管式（コック付）とする。 ● 着脱式 ● 固定式 下記の箇所、若しくは図示により取付ける。 ● 冷凍機類の冷水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● 冷凍機類の冷却水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● ボイラー又は熱交換器の温水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● 冷温水ヘッダーの各送り管 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● ユニット形空気調和機の冷温水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング
	20 定風量・変風量ユニット	● メカニカル形 ● 風速センサー形
	21 温度計	機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付Ｌ形温度計
	22 冷温水管の空気抜き	空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。 ※ 手動 ● 自動 自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工３６（ｇ）） 機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から２ｍの範囲とする。
	23 空調機用トラップ	トラップ形式 ※ ＦＲＰ製保温型 ● ＦＲＰ製 ● ＳＵＳ製
	24 煙道	材質及び厚さ ● ＳＳ４００（※ ３．２㎜ ● ４．５㎜ ） ● ＳＵＳ（※ １．５㎜ ● ２．０㎜） 煤煙濃度計 ● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける 煤じん量測定口（８０φ×２） ※ 取付ける ● 取付けない
	25 オイルサービスタンク	油面計はゲージ式（側圧計）とする。
	26 地下オイルタンク	据付け方法は標準図 ● 施工３０（タンク室有り） ● 施工３１（二重殻タンク・タンク室無し） タンクの保護被覆 ※ エポキシ樹脂 ● 強化プラスチック 基礎杭 ※ 不要 ● 要（ ※ 別途工事 ● 本工事 ） 土留め工事 ● 要 ● 不要 タンクローリー用アース端子を設ける。
	27 フィルター等の付属品	● 機器表特記による。 ● 空気調和機のフィルターは、ロールの場合は１本、ユニットの場合は１セットを付属品として納入する。
	28 防振基礎	送風機の防振基礎 防振材（ ● ゴム ● 金属バネ ）
	29 防振吊り及び支持金物	標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。

4 排煙設備

	1 ダクト	※ 亜鉛鉄板製 ● 鋼板製（１．６㎜）
	2 排煙口	形状 ● パネル形 ● スリット形 ● ダンパー形 取付け ● 天井取付 ● 壁取付 開放装置 ● 手動 ● 手動及び遠隔操作の可能なもの

5 自動制御設備

	1 中央監視制御盤装置	● 有り（構成機能は、図示による） ● 無し
	2 電源装置	● 要（ ● 本工事 ● 別途工事 ） ● 不要
	3 温度調節器等	取付高さ ※ １３００㎜ ● ［ ］㎜
	4 接地工事	盤までの接地工事 ※ 別途電気設備工事 ● 本工事

⑥ 衛生器具設備

	①大便器	※ 節水形 ● 標準形
	②小便器	◉ 自動洗浄（ＡＣ１００Ｖ電源） ● 標準形 ● 自己給電
	③洗面器具用自動水栓	電源供給方式 ※ ＡＣ１００Ｖ ● 乾電池 ● 自己給電
	4 和風便器の耐火処理	標準図（施工６５）の ※（２） ●（１）

7 給水設備

	1 量水器	● 親メーター ※ 借用 ● 買取 （※ 直読 ● 遠隔表示 ） ● 子メーター ※ 買取 ● 借用 （※ 直読 ● 遠隔表示 ）
	2 配管材料	〔ア〕一般配管 ● ＳＧＰ－ＶＢ ● ＳＧＰ－ＰＢ ● ステンレス鋼管 ● ＨＩＶＰ ● 架橋ポリエチレン管 〔イ〕土間下配管 ● ＳＧＰ－ＶＤ ● ＳＧＰ－ＰＤ ● ＨＩＶＰ 〔ウ〕屋外埋設配管 ● ＳＧＰ－ＶＤ ● ＳＧＰ－ＰＤ ● ＨＩＶＰ ● 水道配水用ポリエチレン管（７５～１００Ａ） ● 水道用ポリエチレン二層管（５０Ａ以下） 〔エ〕特記なき給水管の最小口径は２０Ａとする。 〔オ〕ビニル管の接合方法 ※ 接着接合 ● ゴム輪接合（直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする。）
	3 弁類	※ 口径６５Ａ以上の仕切弁及び逆止弁は、ライニング弁とする。 ● ＪＩＳ又はＪＶ５Ｋ（受水槽以降の配管に使用） ● ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ（公営水道に直結する配管に使用） ● 公営水道事業者指定の止水栓又は弁（給水引込部に使用）
	4 水槽の保温	鋼板製、ステンレス製水槽の保温を施工する。
	5 水槽のマンホール	屋外に設置する水槽のマンホール蓋は保温形（二重蓋含む）とする。

8 排水設備

	1 配管材料	〔ア〕屋内汚水管 ● ＶＰ ● ＲＦ－ＶＰ ● 排水用塩ビライニング鋼管 ● 耐火二層管 〔イ〕屋内雑排水管 ● ＶＰ ● ＲＦ－ＶＰ ● ＳＧＰ（白） ● 排水用塩ビライニング鋼管 ● 耐火二層管 〔ウ〕ポンプ排水管 ● ＶＰ（水道用） ● ＨＩＶＰ ● 排水用塩ビライニング鋼管（圧送排水鋼管用可とう継手） 〔エ〕通気管 ● ＶＰ ● ＲＦ－ＶＰ ● ＳＧＰ（白） ● 排水用塩ビライニング鋼管 ● 耐火二層管 〔オ〕屋外排水管 ● ＶＰ ● ＲＦ－ＶＰ ● ＶＵ（地中） ● ＲＥＰ－ＶＵ（地中） ● ＲＳ－ＶＵ（地中） ● 卵形管 ● コンクリート管
	2 満水試験継手	３階以上にわたる排水管立て管に満水試験継手を ※ 取付ける ● 取付けない
	3 パイプシャフト内配管の保温	※ 施工する ● 施工しない
	4 煙試験	※ 行なわなくてもよい ● 図示の系統のみ行なう

9 給湯設備

	1 配管材料	● ＳＧＰ－ＨＶＡ ● ステンレス鋼管 ● 架橋ポリエチレン管・・・機器間（保温厚10） ● 保温付被覆銅管 ● 銅管 湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。
	2 弁類	※ ＪＩＳ又はＪＶ５Ｋ ● ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ

10 消火設備

	1 配管材料	〔ア〕一般配管 ● ＳＧＰ（白） ● ＳＴＰＧ 〔イ〕土間下配管 ● ＳＧＰ－ＶＳ ● ＳＴＰＧ－ＶＳ 〔ウ〕屋外埋設配管 ● ＳＧＰ－ＶＳ ● ＳＴＰＧ－ＶＳ
	2 弁類	※ ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ ● ＪＩＳ又はＪＶ１６Ｋ
	3 保温	〔ア〕呼水タンク ※ 施工しない ● 施工する 〔イ〕充水タンク ※ 施工しない ● 施工する 〔ウ〕配管の保温は次による。（屋外露出箇所は種別ｅ３・（ハ）・Ⅴによる） ● 屋内消火栓用（ ） ● スプリンクラー用（ ） ● 連結送水用 （ ） ● 連結散水用 （ ）
	4 屋内消火栓箱	● 屋内消火栓 ● 易操作性１号消火栓 ● ２号消火栓
	5 ガス系消火剤の種類	● 窒素 ● ＩＧ－５４１ ● ＩＧ－５５ ● ＨＦＣ－２２７ｅａ ● ＨＦＣ－２３
	6 ガス系消火の起動方式	※ 手動 ● 自動手動切替式

11 ガス設備

	1 配管材料	〔ア〕一般配管 ※ ＳＧＰ（白） ● 合成樹脂被覆鋼管 〔イ〕土間下配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 〔ウ〕屋外埋設配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ● ガス用ポリエチレン管
	2 ガスメーター	● 親メーター ※ 借用 ● 買取 （取付け ※ 別途 ● 本工事 ） ● 子メーター ※ 買取 ● 借用 （取付け ※ 本工事 ● 別途 ）
	3 容器廻りの配管	● 標準図（施工７１）の ● 要領（ａ） ● 要領（ｂ） ● 要領（ｃ）
	4 容器の転倒防止	● 標準図（施工７２）の ● 要領（ａ） ● 要領（ｂ）
	5 ガス漏れ警報器	● 不要 ● 要（※ 別途工事 ● 本工事 ）
	6 絶縁継手	● 不要 ● 要
	7 その他	都市ガスはガス供給事業者の供給約款による。

12 浄化槽設備

	1 処理種別及び方式	● 小規模合併処理（ ● 分離接触ばっ気方式 ● 嫌気ろ床接触ばっ気方式 ● 脱窒ろ床接触ばっ気方式 ● その他性能評価を受けた方式（ ） ） ● 合併処理 （ ● 接触ばっ気方式 ● 長時間ばっ気方式 ● 回転板接触方式 ）
	2 処理能力	● 処理対象人員 ［ ］人 ● 処理水量 ［ ］ｍ３／ｄ
	3 放流水の水質	● 流入ＢＯＤ ２００ｍｇ／Ｌ ● 放流水質ＢＯＤ ２０ｍｇ／Ｌ以下 ● Ｔ－Ｎ ［ ］ｍｇ／Ｌ以下 ● Ｔ－Ｐ ［ ］ｍｇ／Ｌ以下
	4 排水方式	※ 自然流下 ● ポンプ排水
	5 マンホールふた	※ 製造者標準仕様（ロック式） ● ＭＨＡ型（ボルト式）
	6 埋戻し土	● 砂 ● 根切土の中の良質土
	7 土留め工事	● 不要 ● 要（図示による）
	8 消毒薬	３ヶ月相当分を納入する。

Ⅲ．機　材

工事に使用する機器及び材料は、図面に仕様等が明記してあるものを除き原則として標準仕様書に規定するもの及び（社）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業　設備機材等評価名簿」による。

ただし、下記表の品目は、上記によるほか下記表に掲げる製造業者とする。

品目	製造業者
衛生器具・付属品・水栓類	ＪＩＳマーク表示品 ＪＩＳマークが無いものについては　ＴＯＴＯ　ＩＮＡＸ　ジャニス工業
製缶類	島倉鉄工　ホーコス　中国金属　森松工業　家森鉄工

業務名称：倉吉市営温水プール改修（機械設備）工事

機械設備工事仕様書（２）

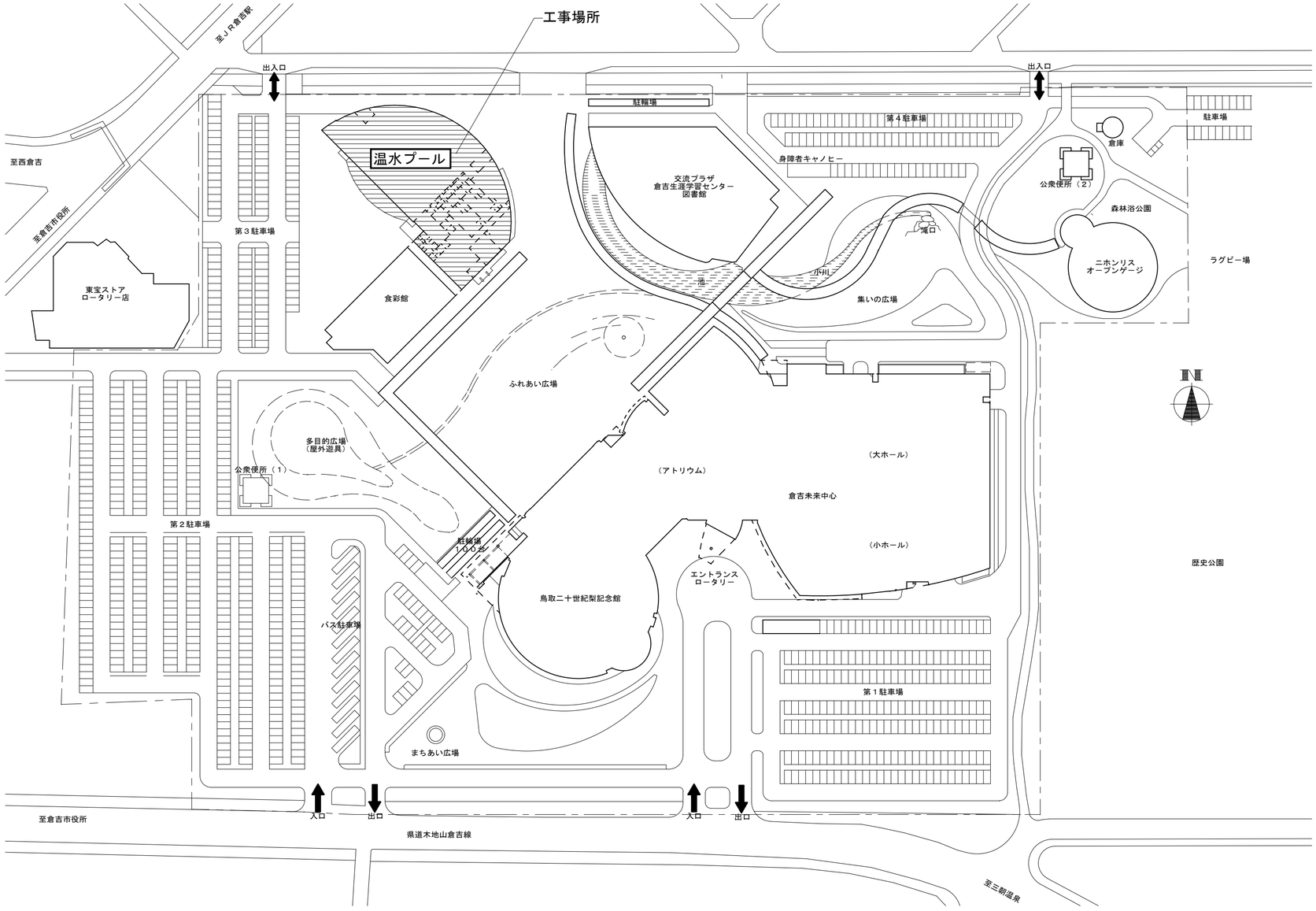
CHECKED BY.

株式会社 白兎設計事務所　鳥取県知事　登録番号　第26-820　管理建築士（一級建築士登録番号　188521）　南　章彦

PROJECT. NO	DATE	
2013K－03	2014.03	一級建築士登録番号 第318668号 田中　一義
DRAWING. NO	SCALE	
M－03		

工事場所
鳥取県倉吉市駄経寺198-2　倉吉パークスクエア内

付近見取り図



配置図

倉吉市営温水プール改修（機械設備）工事

配置図・付近見取図

CHECKED BY.					

株式会社 白兎設計事務所

鳥取県知事　登録番号　第26－820
管理建築士（一級建築士登録番号　188521）　南　章彦

PROJECT. NO	DATE	DRAWING. BY
2013K－03	2014.3	一級建築士登録番号 第318668号 田中　一義
DRAWING. NO	SCALE	
M－04	－	

工事概要

冷暖房設備	○建築工事にて室内の天井を貼替（下地共）に伴い、全てのカセット形ファンコイルのパネルを 建築工程に合わせ、撤去・再取り付けをする。 ○換気設備ダクト内の結露水を取り除く為に設置のPVC製ボール弁 からの排水を既設ドレン管へ接続する。
換気設備	○建築にて施工の天井を貼替工事（下地共）に伴い、天井埋込換気扇とカセット形全熱交換器のパネルを 建築工程に合わせ、撤去・再取り付けをする。 ○既設スパイラルダクトを塩ビ製に全て取り替える。 ○プール内ＳＡダクトの腐食しているフランジを２箇所取替える。 ○機械室（２）に設置の顕熱交換器（ＡＨＥＸ-６）、シロッコファン（ＥＦ－４）の機器を更新する。
除湿設備	○プール以外の室内を正圧に保つ目的で外気空調機（ＡＣＯ１）を設置し、各部屋へ給気する。 ○特に湿度の高い、各更衣室・トレーナー兼救護管理事務室の湿度改善の為 除湿機（ＡＣＤ－１・２）を設置し環境を改善する。 ○循環ファン（ＥＦ-Ｄ１）を設置し、比較的乾燥している機械室（１）の空気を 各部屋天井内へ循環させ、環境改善を図る。 ○産業用除湿機（ＡＣＰ－Ｄ1）をロビー天井内に設置し、天井内を除湿する。
自動制御設備	○除湿設備にて新規に設置する機器のリモコン取付、配線を施工する。
衛生設備	○建築にて施工の男子WC、女子WCの壁タイル貼替工事に伴い、支障となる既設衛生器具の 撤去、再取付を行う。（洗面カウンターと洗面器のブラケットは腐食の為交換する事） ○建築にて施工のプール内壁塗装工事に伴い既設壁埋込散水栓を撤去。再取付を行う。

撤去再取付機器表

記　号	名　称	機　器　仕　様	電気容量	数 量	品 番（参考）	備　考
ＦＣ－３００	ファンコイルユニット （パネルのみ撤去再取付）	2方向吹出しカセット形 冷房能力　２，４２０ｋｃａｌ／ｈ　吸込空気　冷房　２７℃ＤＢ　１９．５℃ＷＢ 暖房能力　３，９３０Ｋｃａｌ／ｈ　暖房２１℃ＤＢ 冷温水量　８．１Ｌ／ｍｉｎ　ΔＰ＝１．１２ｍＡｑ　冷水入口７℃ 風量　５１０ｍ３／ｈ　温水入口６０℃ 付属品　ファンコイルバルブ ２０Ａｘ２ ＳＵＳ製フレキ　２０Ａ　３００Ｌｘ２ 電動三方弁（ＯＮ，ＯＦＦ型）　２０Ａｘ１ 標準付属品	１φ－１００ｖ－４０ｗ	３	ＫＣＳ－３００ＧＺ０５	男子パウダールーム 女子パウダールーム フロント
ＦＣ－４００	ファンコイルユニット （パネルのみ撤去再取付）	2方向吹出しカセット形 冷房能力　３，１８０ｋｃａｌ／ｈ　吸込空気　冷房２７℃ＤＢ　１９．５℃ＷＢ 暖房能力　５，１００Ｋｃａｌ／ｈ　暖房２１℃ＤＢ 冷温水量　１０．５Ｌ／ｍｉｎ　ΔＰ＝１．９８ｍＡｑ　冷水入口７℃ 風量　６６０ｍ３／ｈ　温水入口６０℃ 付属品　ファンコイルバルブ ２０Ａｘ２ ＳＵＳ製フレキ　２０Ａ　３００Ｌｘ２ 電動三方弁（ＯＮ，ＯＦＦ型）　２０Ａｘ１ 標準付属品	１φ－１００ｖ－６３ｗ	４	ＫＣＳ－４００ＧＺ０５	ミーティングルーム
ＦＣ－６００	ファンコイルユニット （パネルのみ撤去再取付）	2方向吹出しカセット形 冷房能力　４，７３０ｋｃａｌ／ｈ　吸込空気　冷房２７℃ＤＢ　１９．５℃ＷＢ 暖房能力　７，６３０Ｋｃａｌ／ｈ　暖房２１℃ＤＢ 冷温水量　１５．６Ｌ／ｍｉｎ　ΔＰ＝１．５７ｍＡｑ　冷水入口７℃ 風量　９９０ｍ３／ｈ　温水入口６０℃ ファンコイルバルブ ２０Ａｘ２ ＳＵＳ製フレキ　２０Ａ　３００Ｌｘ２ 電動三方弁（ＯＮ，ＯＦＦ型）　２０Ａｘ１ 標準付属品	１φ－１００ｖ－８２ｗ	４	ＫＣＳ－６００ＧＺ０５	トレーナー兼救護室 管理事務室 更衣室（多）
ＦＣ－８００	ファンコイルユニット （パネルのみ撤去再取付）	2方向吹出しカセット形 冷房能力　６，１９０ｋｃａｌ／ｈ　吸込空気　冷房２７℃ＤＢ　１９．５℃ＷＢ 暖房能力　９，９５０Ｋｃａｌ／ｈ　暖房２１℃ＤＢ 冷温水量　２０．５Ｌ／ｍｉｎ　ΔＰ＝１．４２ｍＡｑ　冷水入口７℃ 風量　１，２９０ｍ３／ｈ　温水入口６０℃ 付属品　ファンコイルバルブ ２０Ａｘ２ ＳＵＳ製フレキ　２０Ａ　３００Ｌｘ２ 電動三方弁（ＯＮ，ＯＦＦ型）　２０Ａｘ１ 標準付属品	１φ－１００ｖ－９９ｗ	１０	ＫＣＳ－８００ＧＺ０５	ロビー 男子更衣室 女子更衣室

特記事項

○機器のパネルのみ天井貼替工事（別途建築工事）に伴い撤去再取付とし、機器本体は既設のままとする。

業務名称：倉吉市営温水プール改修（機械設備）工事

冷暖房設備　改修　　機械器具表

CHECKED BY.

株式会社 白兎設計事務所
鳥取県知事　登録番号　第26-820
管理建築士（一級建築士登録番号　188521）　南　章彦

PROJECT. NO	DATE	
2013K－03	2014.03	一級建築士登録番号 第318668号 田中　一義
DRAWING. NO	SCALE	
M－０５		

特記事項

○実線のファンコイルは別途建築工事にて施工の天井貼替に伴い、パネルのみ撤去再取り付けとする。
○破線の既設配管は既設のままとする。
○ドレン用ポール弁の一時側に軟質塩化ビニルホース（透明網入り１９mm×５００L）を使用する事。
○男女更衣室壁仕上げ材の貼替に伴うＦＣＵ、換気扇ＳＷのプレート取り外し、再取り付けは本工事とする。
③印の部分は既設ドレン配管切断と接続箇所を示す（保温補修共）。

Y5 7,000 Y4 7,000 Y3 7,000 Y2 7,000 Y1 6,800 Y0 5,205

X10 X9 X8 X7 7,775 10,740 9,650

±1,580 ±3,708 ±3,708 ±1,000 ±3,551

機械室（1） 機械室（2） 廊下 ミーティングルーム（多目的ルーム） 風除室（1） ロビー トッププライト 更衣室（女） 更衣室（男） 更衣室（多） パウダールーム パウダールーム フロント 更衣ロッカ 倉庫（1） 倉庫（2） 凍結室 トレーナー兼救護管理事務室 WC（男） WC（女） WC（多） WC（男） WC（女） WC WC WC WC シャワー室 シャワーブース 物入 シャワー 器具庫 ドリンクコーナー 更衣ブース 更衣ブース 更衣ブース 更衣ブース 甲防（開） 甲防（開） 甲防（開） 強制シャワー 強制シャワー 段階棒

FC 400 × 4
FC 800 × 6
FC 800 × 2
FC 800 × 2
FC 300
FC 300 × 2
FC 300
FC 600
FC 600 × 3
ACP D1
ACO 1－1

BV （PVC製）20A－38
（ダクト内部水抜用）
20×40箇所

1階 配管図 S＝1／100

業務名称：倉吉市営温水プール改修（機械設備）工事	CHECKED BY.	株式会社 白兎設計事務所 鳥取県知事 登録番号 第26-820 管理建築士（一級建築士登録番号 188521） 南 章彦	PROJECT. NO 2013K－03 / DATE 2014.03 / 一級建築士登録番号 第318668号 田中 一義
冷暖房設備 改修 1階配管図			DRAWING. NO M－06 / SCALE 1／100

機械器具表

記　号	名　称	機　器　仕　様	電気容量	数 量	品 番（既設参考）	備　考
EF－1	排気ファン （本体は既設のまま）	ラインファン　消音型 風量　250m3／h　x5mmAq　x4P 付属品　防振吊金具 吸排気グリル（消音型）２００φｘ１（パネル撤去再取付）	1φ-100v-12w	1	11／2LFU6．012S	器具庫
EF-2	排気ファン （既設のまま）	ラインファン　消音型 風量　7，000m3／h　x10mmAq　x4P 付属品　防振吊金具	3φ-200v-1．1kw	1	4LFU61．1	機械室（2）
EF-3	排気ファン （既設のまま）	ラインファン　消音型 風量　5，000m3／h　x10mmAq 付属品　防振吊金具	3φ-200v-0．7kw	1	4LFU6．7	機械室（1）
EF－4	排気ファン （更新）	片吸込シロッコファン　低騒音型 風量　20，000m3／h　x60mmAq　x4P 付属品　防振架台	3φ－200v－7．5kw	1	41／2SRM03 （参考品番）	機械室（2）
VF－1	排気ファン （パネル撤去再取付）	天井埋込換気扇 低騒音型 風量　68m3／h　x3mmAq 付属品　SUS丸形フード	1φ－100v－8．8w	3	VD－10ZC5	事務室更衣，ロッカー室 倉庫（1），（2）
VF－2	排気ファン （パネル撤去再取付）	天井埋込換気扇 浴室用 風量　107m3／h　x3mmAq 付属品　SUS丸形フード	1φ－100v－18．0w	1	VD－13ZC5－P	更衣室（多）シャワー室
VF－3	排気ファン （パネル撤去再取付）	天井埋込換気扇 低騒音型 風量　175m3／h　x3mmAq 付属品　SUS丸形フード	1φ－100v－23．0w	3	VD－15ZXP5－C	更衣室（多）WC ロビー（男）WC ロビー（女）WC
VF－4	排気ファン （パネル撤去再取付）	天井埋込換気扇 浴室用 風量　188m3／h　x3mmAq 付属品　SUS丸形フード	1φ－100v－24．0w	1	VD－15ZPC5	更衣室（女）　シャワー室
VF－5	排気ファン （パネル撤去再取付）	天井埋込換気扇 金属製 風量　280m3／h　x5mmAq 付属品　SUS丸形フード	1φ－100v－40．0w	1	VD－18ZP5	湯沸室
VF－6	排気ファン （パネル撤去再取付）	天井埋込換気扇 低騒音型 風量　280m3／h　x5mmAq 付属品　SUS丸形フード	1φ－100v－36．0w	2	VD－18ZXP5－C	更衣室（男）WC 更衣室（女）WC
VF－7	排気ファン （パネル撤去再取付）	天井埋込換気扇 浴室用 風量　280m3／h　x5mmAq 付属品　SUS丸形フード	1φ－100v－46．0w	1	VD－20ZC5	更衣室（男）シャワーブース
SF-1	給気ファン （既設のまま）	ラインファン　消音型 風量　250m3／h　x5mmAq　x4P 付属品　防振吊金具	1φ-100vx12w	1	11/2LFU6.012S	器具庫
SF-2	給気ファン （既設のまま）	ラインファン　消音型 風量　7，000m3／h　x10mmAq　x4P 付属品　防振吊金具	3φ-200vx0．75kw	1	4LFU61．1	機械室（2）
SF-3	給気ファン （既設のまま）	ラインファン　消音型 風量　5，000m3／h　x10mmAq　x4P 付属品　防振吊金具	3φ-200vx0．7kw	1	4LFU6．7	機械室（1）

記　号	名　称	機　器　仕　様	電気容量	数 量	品 番（既設参考）	備　考
AHEX－1	全熱交換器 （パネル撤去再取付）	フルフラットインテリア形 風量　110m3／h　x5mmAq 付属品　コントロールSW　防振吊金具	1φ－100v－140w	1	LGH－25CS2	パウダールーム（男）
AHEX－2	全熱交換器 （パネル撤去再取付）	フルフラットインテリア形 風量　220m3／h　x5mmAq 付属品　コントロールSW　防振吊金具	1φ－100v－140w	2	LGH－25CS2	パウダールーム（女） トレーナ兼救護室
AHEX－3	全熱交換器 （パネル撤去再取付）	フルフラットインテリア形 風量　300m3／h　x5mmAq 付属品　コントロールSW　防振吊金具	1φ－100v－184w	2	LGH－35CS2	更衣室（多） 管理事務室
AHEX-4	全熱交換器 （本体は既設のまま）	天井埋込形 風量　750m3／h　x10mmAq 付属品　コントロールSW　防振吊金具 吸排気グリル（消音型2００φｘ４（パネル撤去再取付）	1φ-100v-445w	3	LGH－65RS2	更衣室（男） 更衣室（女） ミーティングルーム
AHEX-5	全熱交換器 （本体は既設のまま）	天井埋込形 風量　1，020m3／h　x10mmAq 付属品　コントロールSW　防振吊金具 吸排気グリル（消音型2００φｘ４（パネル撤去再取付）	1φ-100v-460w	1	LGH－80RS3	ロビー
AHEX－6	顕熱交換器 （更新）	床置型　耐湿型 処理風量　20，000m3／h 圧力損失　35mmAq 付属品　吸気，排気フィルター　標準付属品一式		1	LUP－504 （既設参考品番）	機械室（2） コンクリート基礎（既設） 2，500x1，100x200H

業務名称：倉吉市営温水プール改修（機械設備）工事

換気設備　改修　機械器具表

CHECKED BY.

株式会社 白兎設計事務所　鳥取県知事　登録番号　第26-820　管理建築士（一級建築士登録番号　188521）　南　章彦

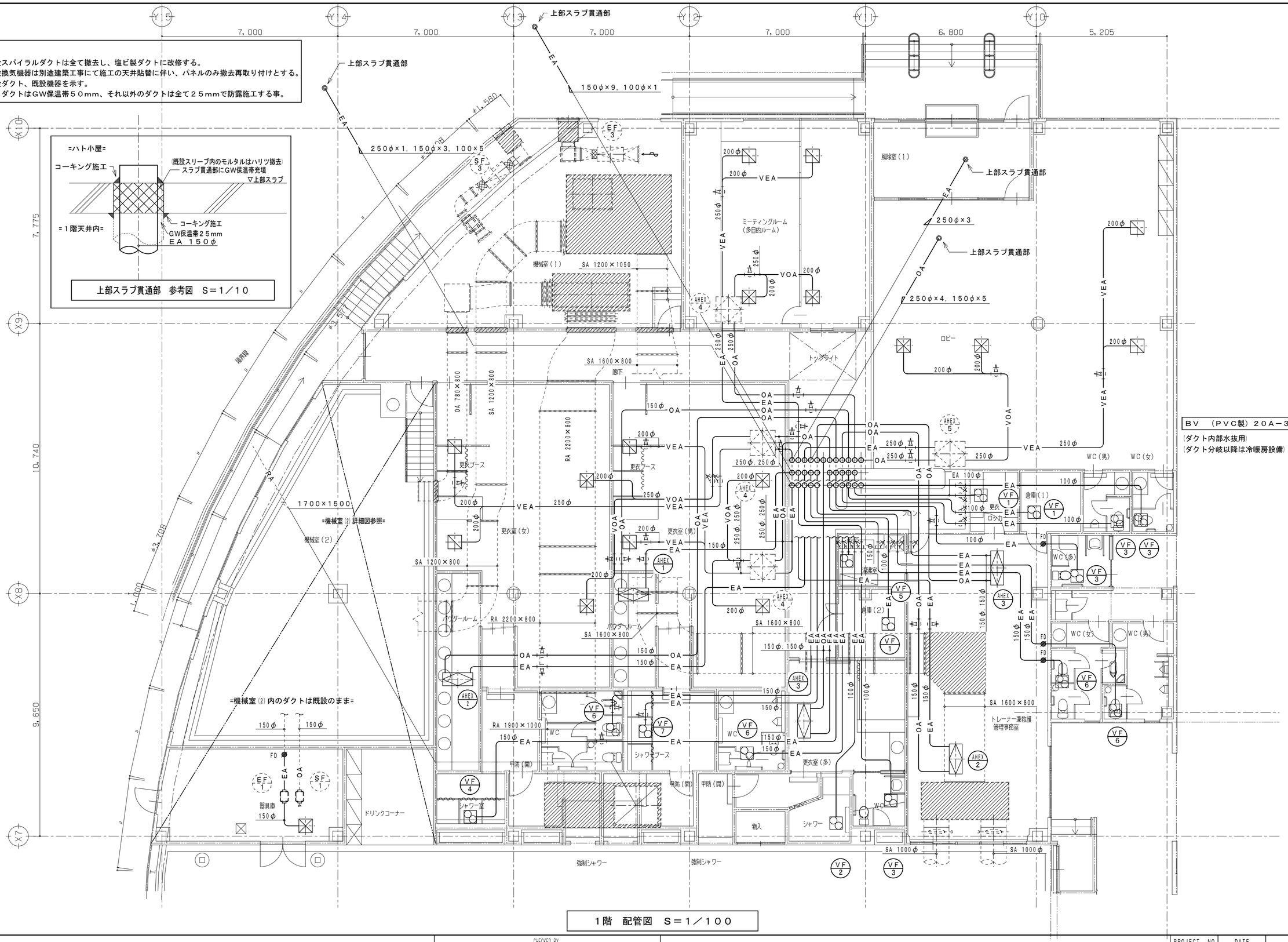
PROJECT. NO	DATE	
2013K－03	2014.03	一級建築士登録番号 第318668号 田中　一義
DRAWING. NO	SCALE	
M－07		

特記事項

○実線の既設スパイラルダクトは全て撤去し、塩ビ製ダクトに改修する。
○実線の既設換気機器は別途建築工事にて施工の天井貼替に伴い、パネルのみ撤去再取り付けとする。
○破線は既設ダクト、既設機器を示す。
○図中のＯＡダクトはＧＷ保温帯５０mm、それ以外のダクトは全て２５mmで防露施工する事。

=ハト小屋=

上部スラブ貫通部　参考図　S＝1／10



1階　配管図　S＝1／100

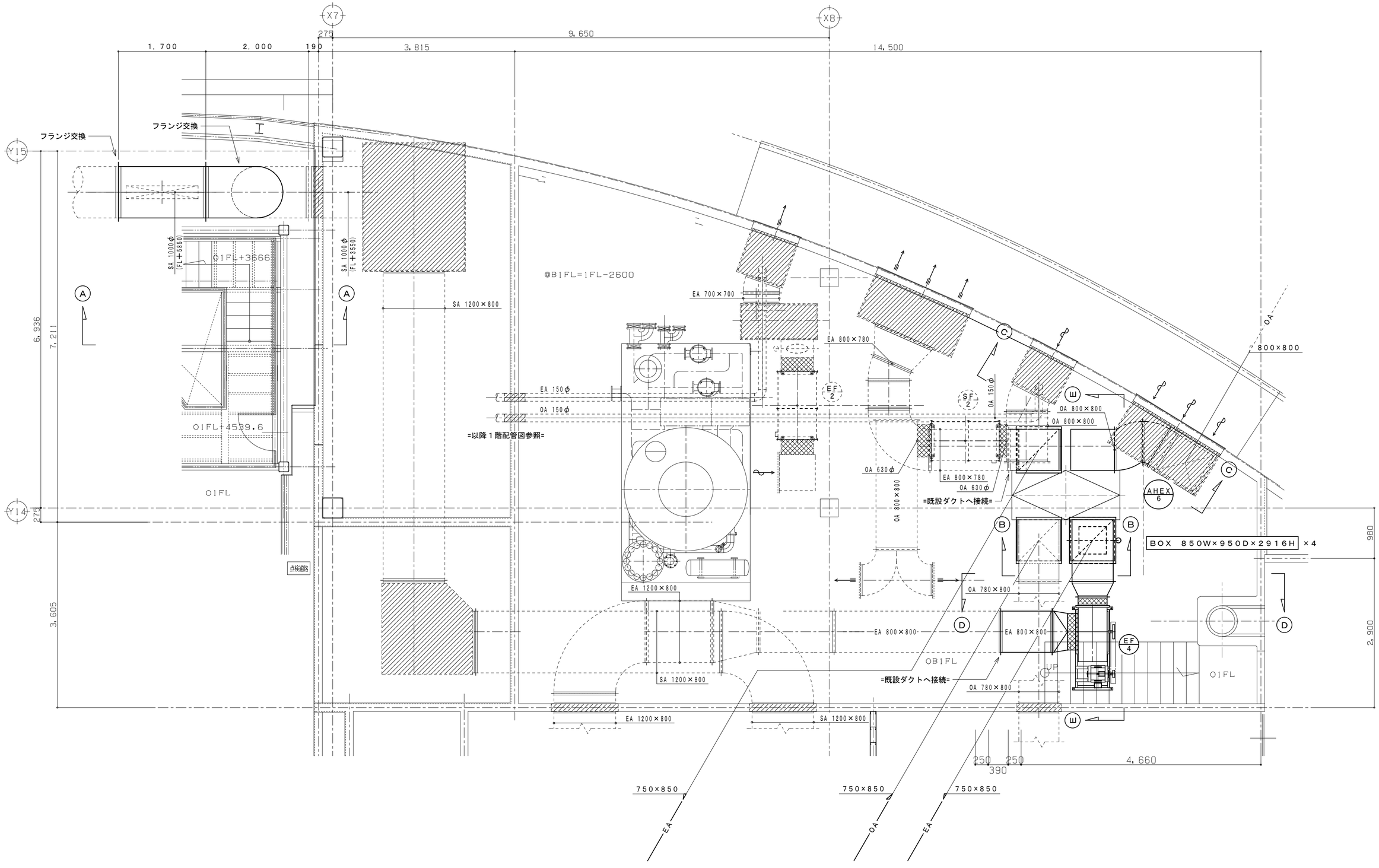
BV　（PVC製）２０A－３８　（冷暖房設備）
（ダクト内部水抜用）
（ダクト分岐以降は冷暖房設備）

業務名称：倉吉市営温水プール改修（機械設備）工事	CHECKED BY.
換気設備　改修　1階配管図	

株式会社 白兎設計事務所
鳥取県知事　登録番号　第26-820
管理建築士（一級建築士登録番号　188521）　南　章彦

PROJECT. NO	DATE
2013K－03	2014. 03
DRAWING. NO	SCALE
M－08	1／100 1／10

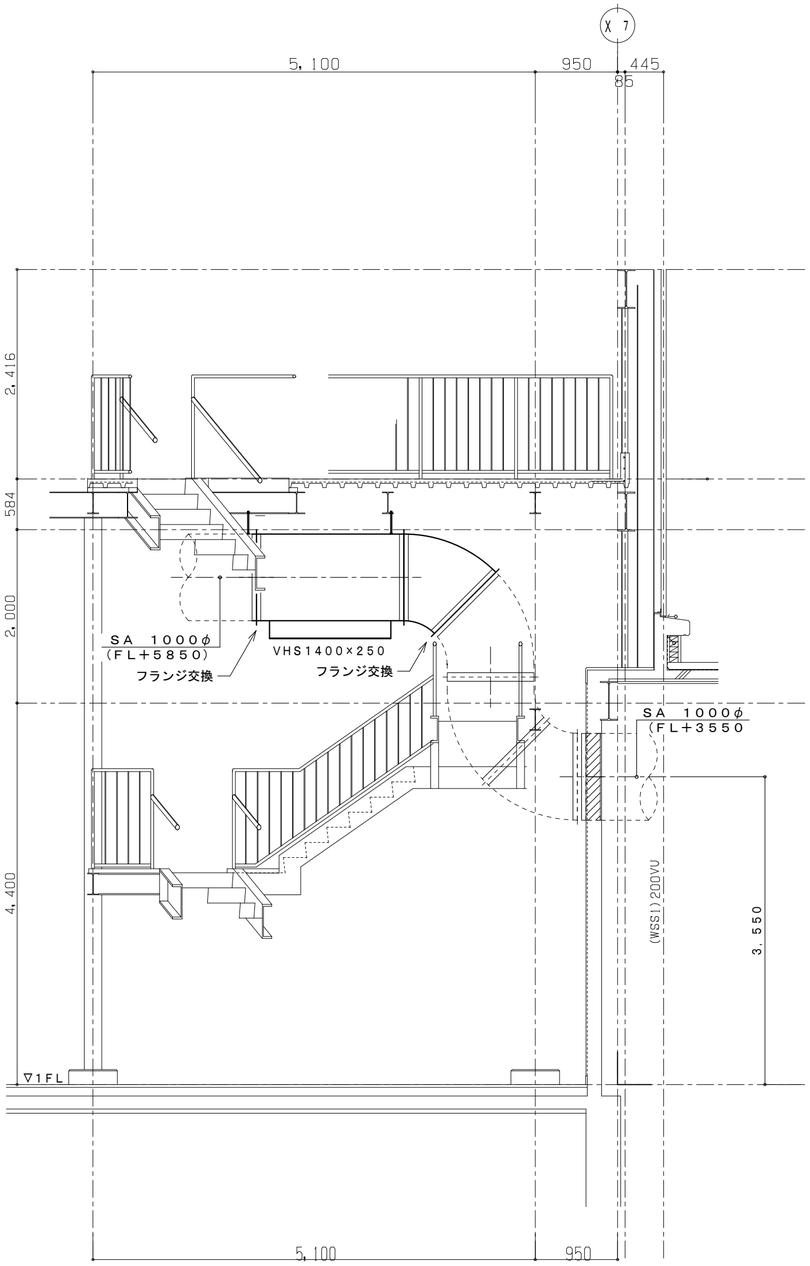
一級建築士登録番号
第318668号
田中　一義



機械室　詳細図　S＝1／50

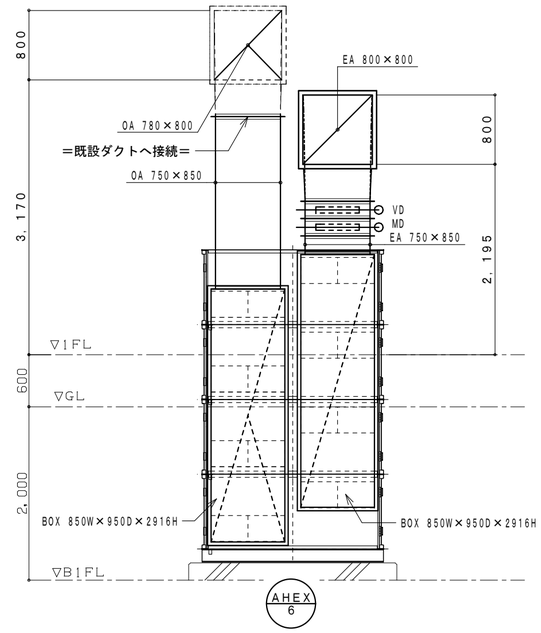
○上記図面は参考とし、機器更新に支障となる既設ダクトは撤去再取り付けとする。

業務名称：倉吉市営温水プール改修（機械設備）工事		CHECKED BY.						株式会社 白兎設計事務所	鳥取県知事　登録番号　第26-820 管理建築士（一級建築士登録番号　188521）　南　章彦	PROJECT. NO	DATE	
換気設備　改修　機械室（２）配管図										2013K－03	2014.03	一級建築士登録番号 第318668号 田中　一義
										DRAWING. NO	SCALE	
										M－09	1／50	



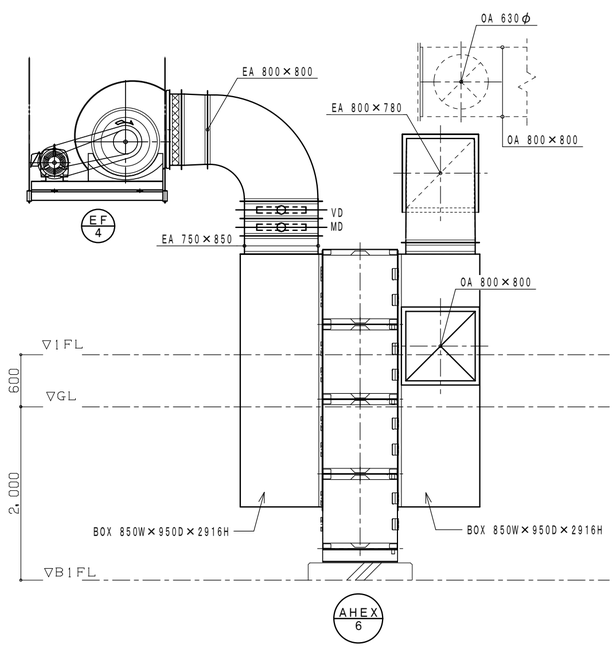
A－A　断面図　S＝1／50

○フランジ交換の為、実線のダクトを撤去再取り付け



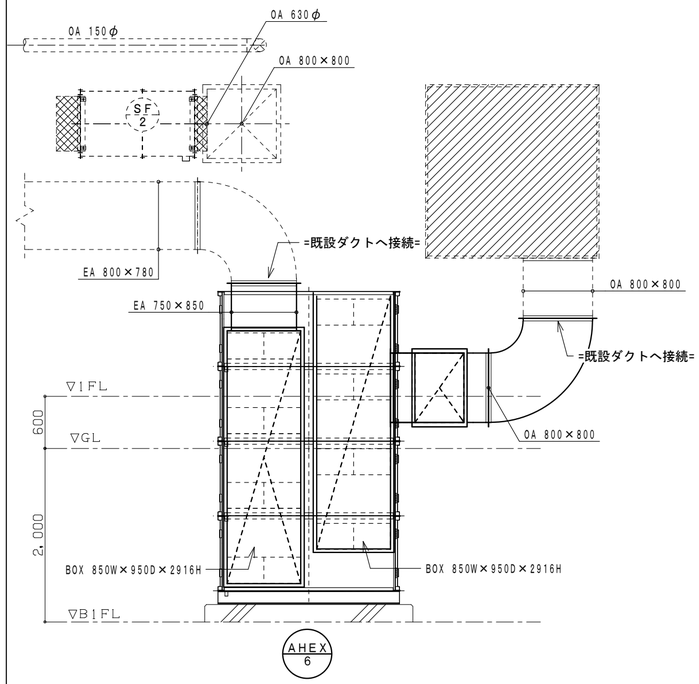
B－B　断面図　S＝1／50

○上記図面は参考とし、機器更新に支障となる既設ダクトは撤去再取り付けとする。



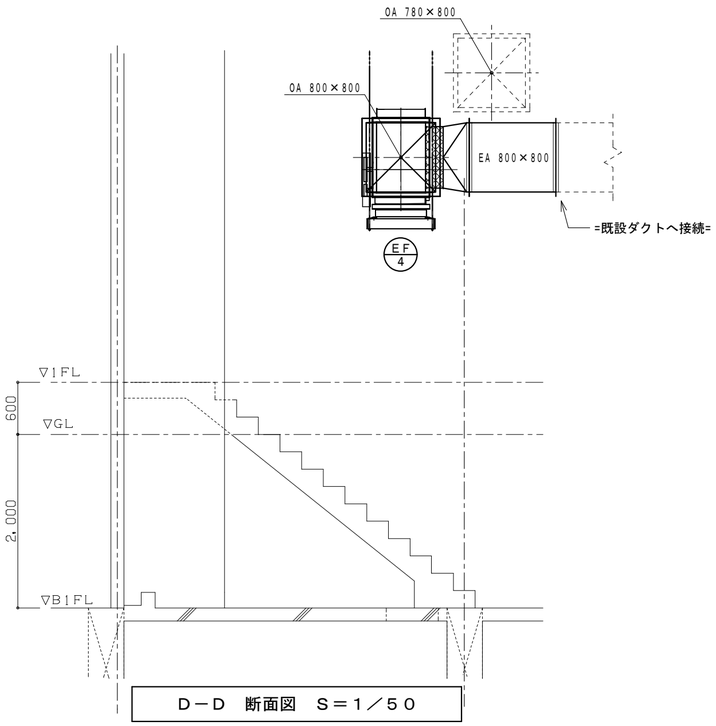
E－E　断面図　S＝1／50

○上記図面は参考とし、機器更新に支障となる既設ダクトは撤去再取り付けとする。



C－C　断面図　S＝1／50

○上記図面は参考とし、機器更新に支障となる既設ダクトは撤去再取り付けとする。



D－D　断面図　S＝1／50

○上記図面は参考とし、機器更新に支障となる既設ダクトは撤去再取り付けとする。

業務名称：倉吉市営温水プール改修（機械設備）工事

換気設備　改修　機械室（２）断面図

CHECKED BY.

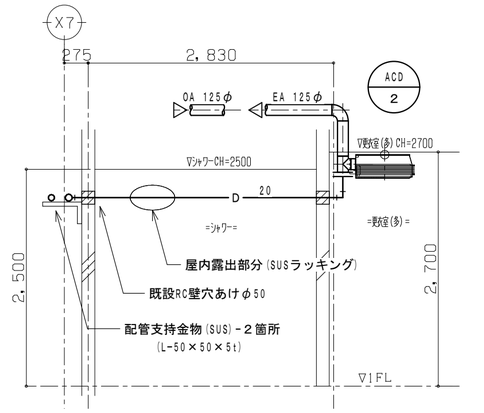
株式会社 白兎設計事務所

鳥取県知事　登録番号　第26-820
管理建築士（一級建築士登録番号　188521）　南　章彦

PROJECT. NO	DATE	
2013K－03	2014.03	一級建築士登録番号 第318668号 田中　一義
DRAWING. NO	SCALE	
M－10	1／50	

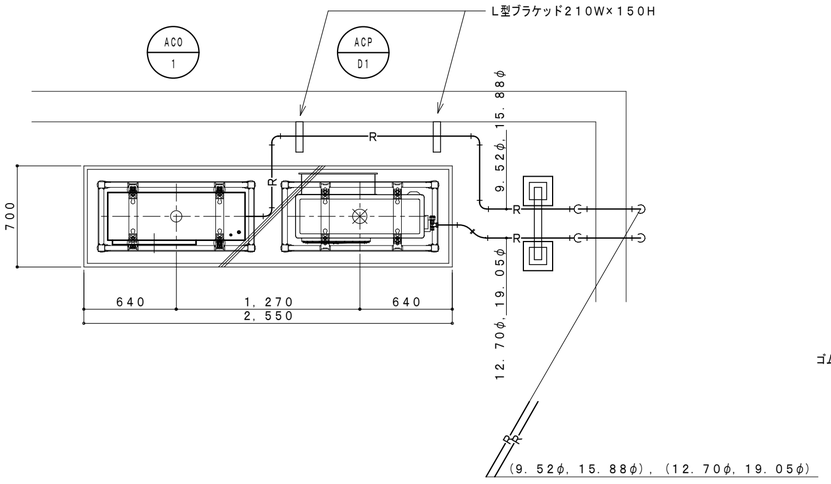
除湿設備　機械器具表

記号	名称	仕様	電源	台数	設置場所	備　　考
ACO 1	空気熱源ヒートポンプ パッケージ型エアコン （屋外機）	型　式　　ビル用マルチ形（５ＨＰ） 冷房能力　１４．０ｋＷ　暖房能力　１６．０ｋＷ 圧縮機　〔２．９ｋｗ〕　　送風機　〔０．０６ｋＷ×２〕 付属品　吸込側ＳＵＳ製防雪フード、溶融亜鉛メッキ架台３００Ｈ	１φ２００Ｖ	１	屋外	
ACO 1－1	（室内機）	型　式　　天井埋込形（オールフレッシュ）機外静圧２００Ｐａ 冷房能力　１４．０ｋＷ　暖房能力　１２．０ｋＷ 送風機　　０．１３ｋｗ 付属品　　フィルターボックス、ロングライフフィルター、ドレンアップメカ、週間スケジュールタイマー付リモコン	１φ２００Ｖ	１	ロビー天井内	
ACD 1	乾式除湿機	型　式　　天井吊露出型 除湿量　１．１ﾘｯﾄﾙ／ｈ 処理風量　　７．０ｍ³／ｍｉｎ　　定格消費電力　３．７ｋｗ 付属品　　ワイヤードリモコン、湿度センサー〔本体内蔵〕	３φ２００Ｖ	３	トレーナー兼救護管理事務室 更衣室〔男〕 更衣室〔女〕	
ACD 2	乾式除湿機	型　式　　天井吊露出型 除湿量　０．７ﾘｯﾄﾙ／ｈ 処理風量　　６．０ｍ³／ｍｉｎ　　定格消費電力　２．５ｋｗ 付属品　　ワイヤードリモコン、湿度センサー〔本体内蔵〕	１φ２００Ｖ	１	更衣室〔多〕	
ACP D1	産業用除湿機 （除湿機専用機）	型　式　　天井インペイ型 除湿量　９．５ﾘｯﾄﾙ／ｈ　　風量　３３ｍ³／ｍｉｎ 圧縮機　　（２．２ｋｗ）　　送風機　内（０．４ｋｗ）＋外（０．０４８ｋｗ） 付属品　　ワイヤードリモコン、ブレナム、フィレドンﾌｨﾙﾀｰ、溶融亜鉛メッキ架台３００Ｈ	３φ２００Ｖ	１	ロビー天井内	発停は本体付属の 湿度センサーにて行う
EF D1	循環ファン	ストレートシロッコファン　（消音型）＃１　１／２ 風量　　１４００ｍ３／ｈ　ｘ１８０Ｐａ　ｘ４Ｐ 定格消費電力　４４５ｗ 付属品　　防振吊金具	３φ２００Ｖ	１	ロビー天井内	



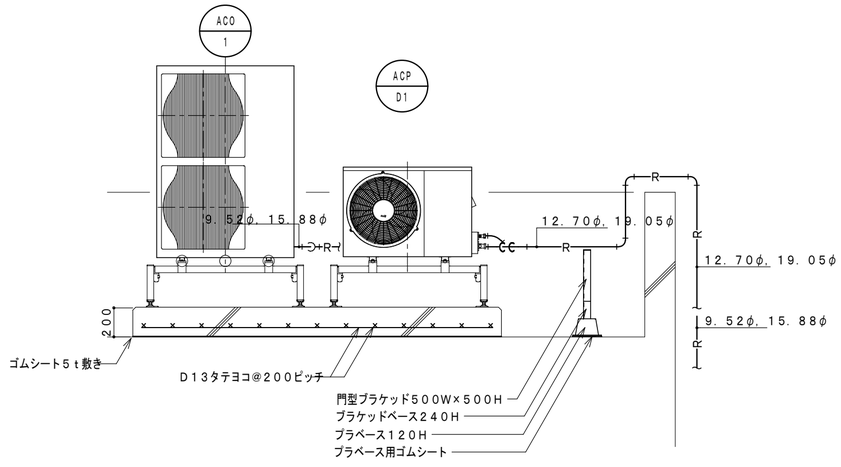
更衣室除湿機　断面図　Ｓ＝１／５０　（参考）

屋内露出の配管支持金物は全て溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
屋内露出の配管・ダクトの防露は全てＳＵＳラッキング仕上げとする。



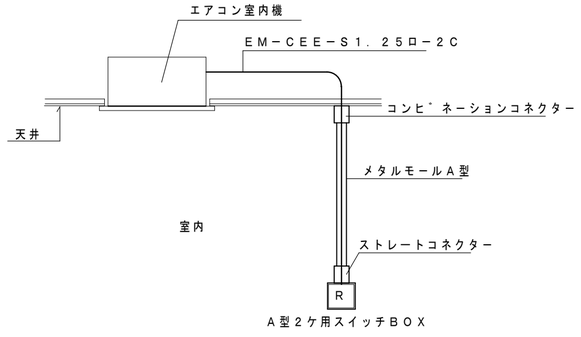
屋上室外機廻り　配管図　Ｓ＝１／３０　（参考）

屋上架台は全て溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
屋外露出の冷媒配管はＳＵＳラッキング仕上げとする。



屋上室外機廻り　断面図　Ｓ＝１／３０　（参考）

屋上架台は全て溶融亜鉛メッキ仕上げとする。



個別リモコン取付要領図

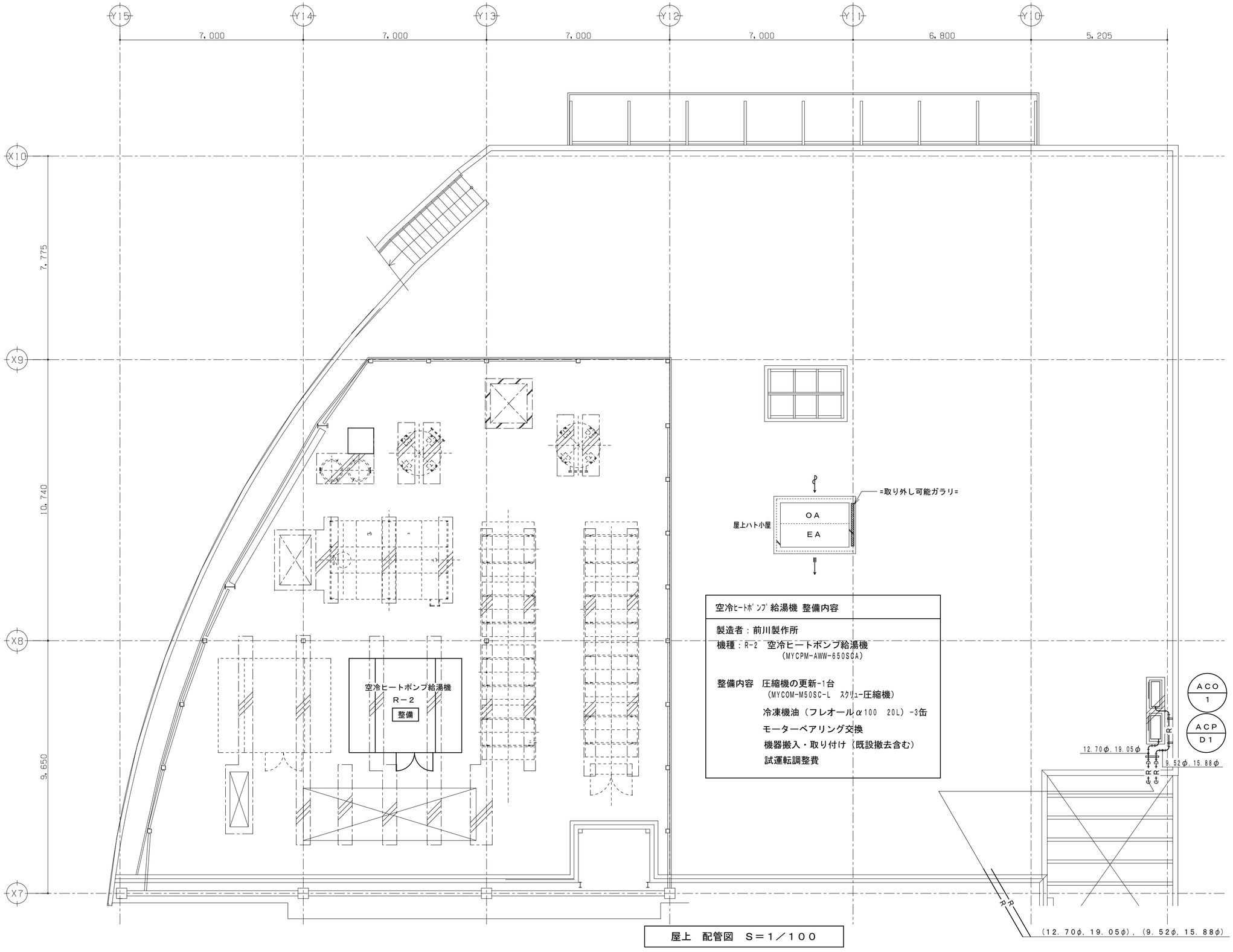
業務名称：倉吉市営温水プール改修（機械設備）工事

除湿設備　改修　機械器具表　屋上室外機回り詳細図　更衣室除湿機断面図

CHECKED BY.

株式会社 白兎設計事務所
鳥取県知事　登録番号　第26-820
管理建築士（一級建築士登録番号　188521）　南　章彦

PROJECT. NO	DATE	
2013K－03	2014. 03	一級建築士登録番号 第318668号 田中　一義
DRAWING. NO	SCALE	
M－11	1／30 1／50	



空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ給湯機 整備内容

製造者：前川製作所

機種：R-2　空冷ヒートポンプ給湯機
(MYCPM-AWW-650SCA)

整備内容　圧縮機の更新-1台
(MYCOM-M50SC-L　ｽｸﾘｭｰ圧縮機)
冷凍機油（フレオールα100　20L）-3缶
モーターベアリング交換
機器搬入・取り付け（既設撤去含む）
試運転調整費

屋上　配管図　S＝1／100

業務名称：倉吉市営温水プール改修（機械設備）工事

除湿設備　改修　屋上配管図

CHECKED BY.

株式会社 白兎設計事務所
鳥取県知事　登録番号　第26-820
管理建築士（一級建築士登録番号　188521）　南　章彦

PROJECT. NO	DATE	
2013K－03	2014.03	一級建築士登録番号
DRAWING. NO	SCALE	第318668号
M－12	1／100	田中　一義

特記事項

○図中ＯＡ、ＳＡダクトはＧＷ保温帯２５mmで防露施工する事。
○図中ＥＡダクトの外壁より１m以内の部分はＧＷ保温帯２５mmで防露施工する事。

トレーナー兼救護管理事務室		
パス	吸込口　ＨＳ	1
	２５０ｘ２５０	
	天井用	
	２６０　ＣＭＨ	
	ＢＯＸ　４５０ｘ４５０ｘ４００Ｈ(０．５ｔ)	
	ＢＯＸ内貼　ＧＷ板４０ｋ－２５	
ＳＡ	吹出口　ＶＨＳ（Ｆ付）	1
	２５０ｘ２５０	
	天井用	
	２６０　ＣＭＨ	
	ＢＯＸ　４５０ｘ４５０ｘ４００Ｈ(０．５ｔ)	
	ＢＯＸ内貼　ＧＷ板４０ｋ－２５	

ロビー		
パス	吹出口　ＶＨＳ（Ｆ付）	1
	２５０ｘ２５０	
	天井用	
	２６０　ＣＭＨ	
	ＢＯＸ　４５０ｘ４５０ｘ４００Ｈ(０．５ｔ)	
	ＢＯＸ内貼　ＧＷ板４０ｋ－２５	

廊下		
パス	吹出口　ＶＨＳ（Ｆ付）	2
	２５０ｘ２５０	
	天井用	
	２６０　ＣＭＨ	
	ＢＯＸ　４５０ｘ４５０ｘ４００Ｈ(０．５ｔ)	
	ＢＯＸ内貼　ＧＷ板４０ｋ－２５	

廊下（ロビー奥）		
パス	吹出口　ＶＨＳ（Ｆ付）	1
	１５０ｘ１５０	
	天井用	
	６０　ＣＭＨ	
	ＢＯＸ　３５０ｘ３５０ｘ３００Ｈ(０．５ｔ)	
	ＢＯＸ内貼　ＧＷ板４０ｋ－２５	

更衣室（女）、（男）		
パス	吸込口　ＨＳ	2
	２５０ｘ２５０	
	天井用	
	２６０　ＣＭＨ	
	ＢＯＸ　４５０ｘ４５０ｘ４００Ｈ	
	ＢＯＸ内貼　ＧＷ板４０ｋ－２５	
ＳＡ	吹出口　ＶＨＳ（Ｆ付）	2
	２５０ｘ２５０	
	天井用	
	２６０　ＣＭＨ	
	ＢＯＸ　４５０ｘ４５０ｘ４００Ｈ(０．５ｔ)	
	ＢＯＸ内貼　ＧＷ板４０ｋ－２５	

更衣室（多）		
パス	吸込口　ＨＳ	1
	１５０ｘ１５０	
	天井用	
	６０　ＣＭＨ	
	ＢＯＸ　３５０ｘ３５０ｘ３００Ｈ(０．５ｔ)	
	ＢＯＸ内貼　ＧＷ板４０ｋ－２５	
ＳＡ	吹出口　ＶＨＳ（Ｆ付）	1
	１５０ｘ１５０	
	天井用	
	６０　ＣＭＨ	
	ＢＯＸ　３５０ｘ３５０ｘ３００Ｈ(０．５ｔ)	
	ＢＯＸ内貼　ＧＷ板４０ｋ－２５	

チャンバーＢＯＸ（０．８ｔ）
１２５０×５００×５５０Ｈ　×２
内貼ＧＷ４０Ｋ－２５mm

ＳＵＳ製深型パイプフード（防虫網付）１２５φ-１　（焼付塗装）
ＳＵＳ製深型パイプフード（ガラリ付）１２５φ-１　（焼付塗装）

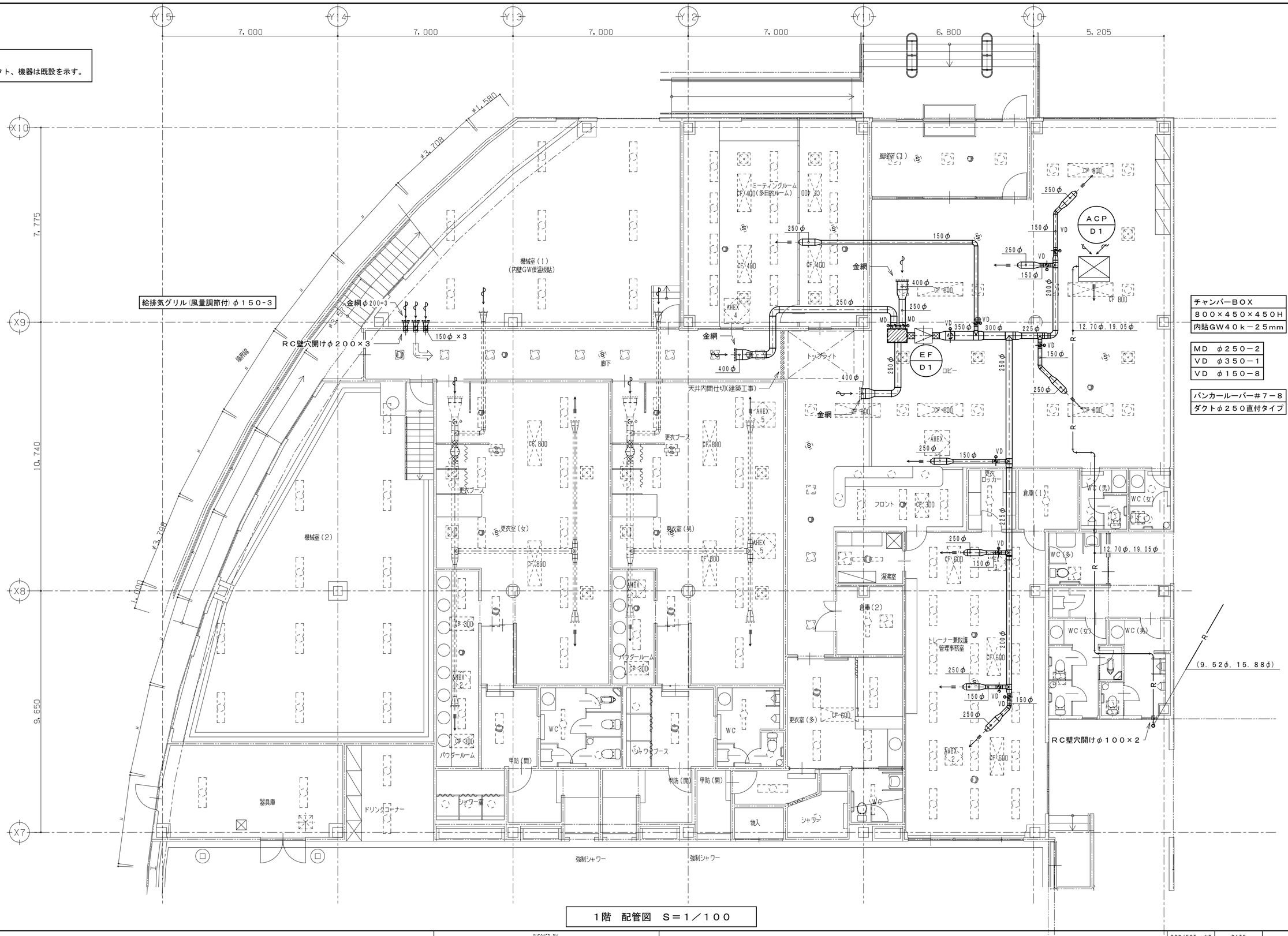
ＳＵＳ製深型パイプフード（防虫網付）１７５φ-３　（焼付塗装）
ＳＵＳ製深型パイプフード（防虫網付）１２５φ-３　（焼付塗装）
ＳＵＳ製深型パイプフード（ガラリ付）１２５φ-２　（焼付塗装）
ＳＵＳ製深型パイプフード（ガラリ付）　７５φ-１　（焼付塗装）

１階　配管図　Ｓ＝１／１００

業務名称：倉吉市営温水プール改修（機械設備）工事	CHECKED BY.	株式会社 白兎設計事務所	PROJECT. NO	DATE	
除湿設備　改修　１階配管図		鳥取県知事　登録番号　第26-820 管理建築士（一級建築士登録番号　188521）　南　章彦	2013K－03	2014. 03	一級建築士登録番号 第318668号 田中　一義
			DRAWING. NO	SCALE	
			M－１３	１／１００	

特記事項

○破線のダクト、機器は既設を示す。



チャンバーBOX
８００×４５０×４５０H
内貼GW４０k−２５mm

MD　φ２５０−２
VD　φ３５０−１
VD　φ１５０−８

バンカールーバー#７−８
ダクトφ２５０直付タイプ

１階　配管図　S＝１／１００

業務名称：倉吉市営温水プール改修（機械設備）工事

除湿設備　改修　１階天井内環境改善配管図

CHECKED BY.

株式会社 白兎設計事務所
鳥取県知事　登録番号　第26−820
管理建築士（一級建築士登録番号　188521）　南　章彦

PROJECT. NO	DATE
2013K−03	2014.03
DRAWING. NO	SCALE
M−14	1/100

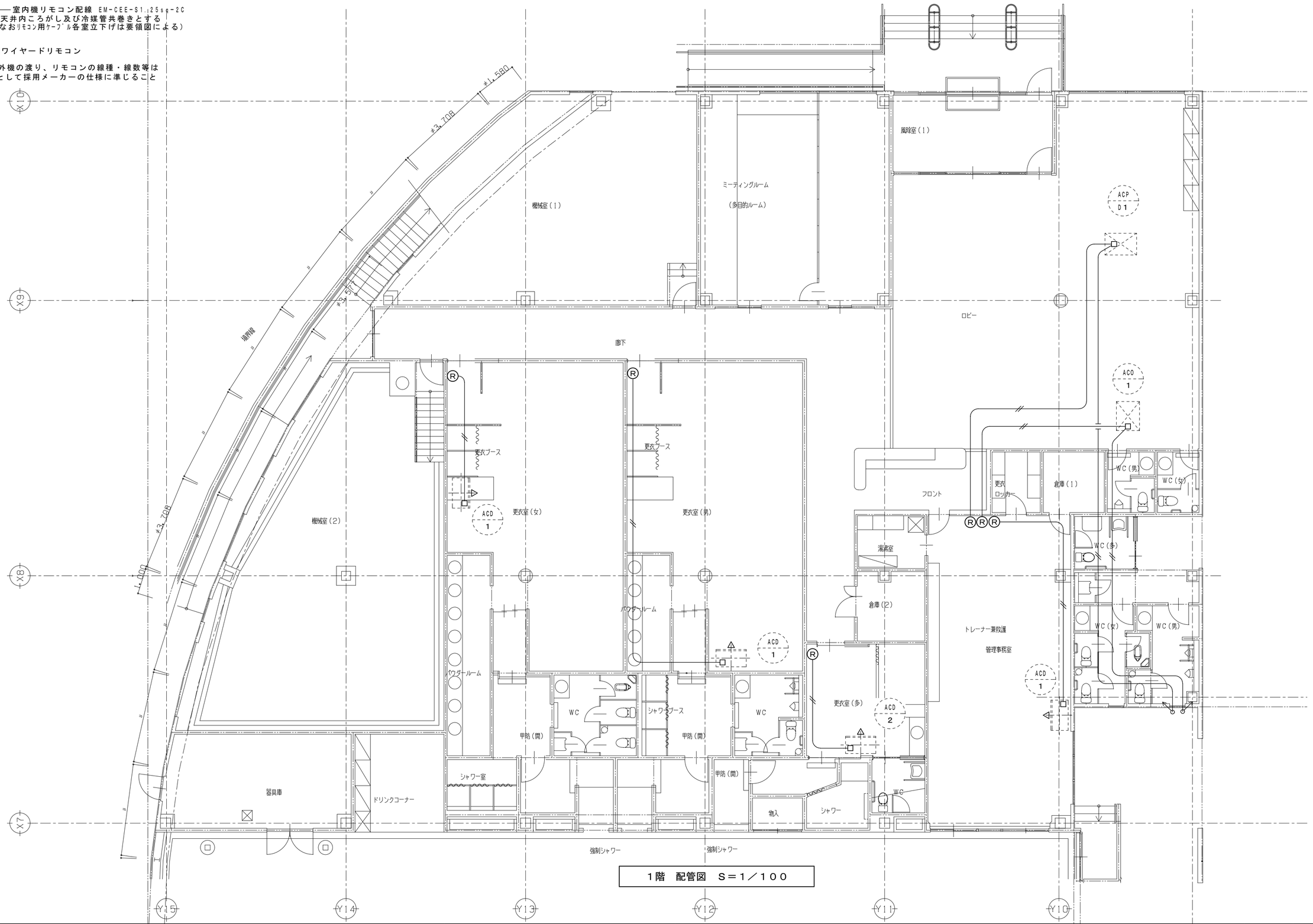
一級建築士登録番号
第318668号
田中　一義

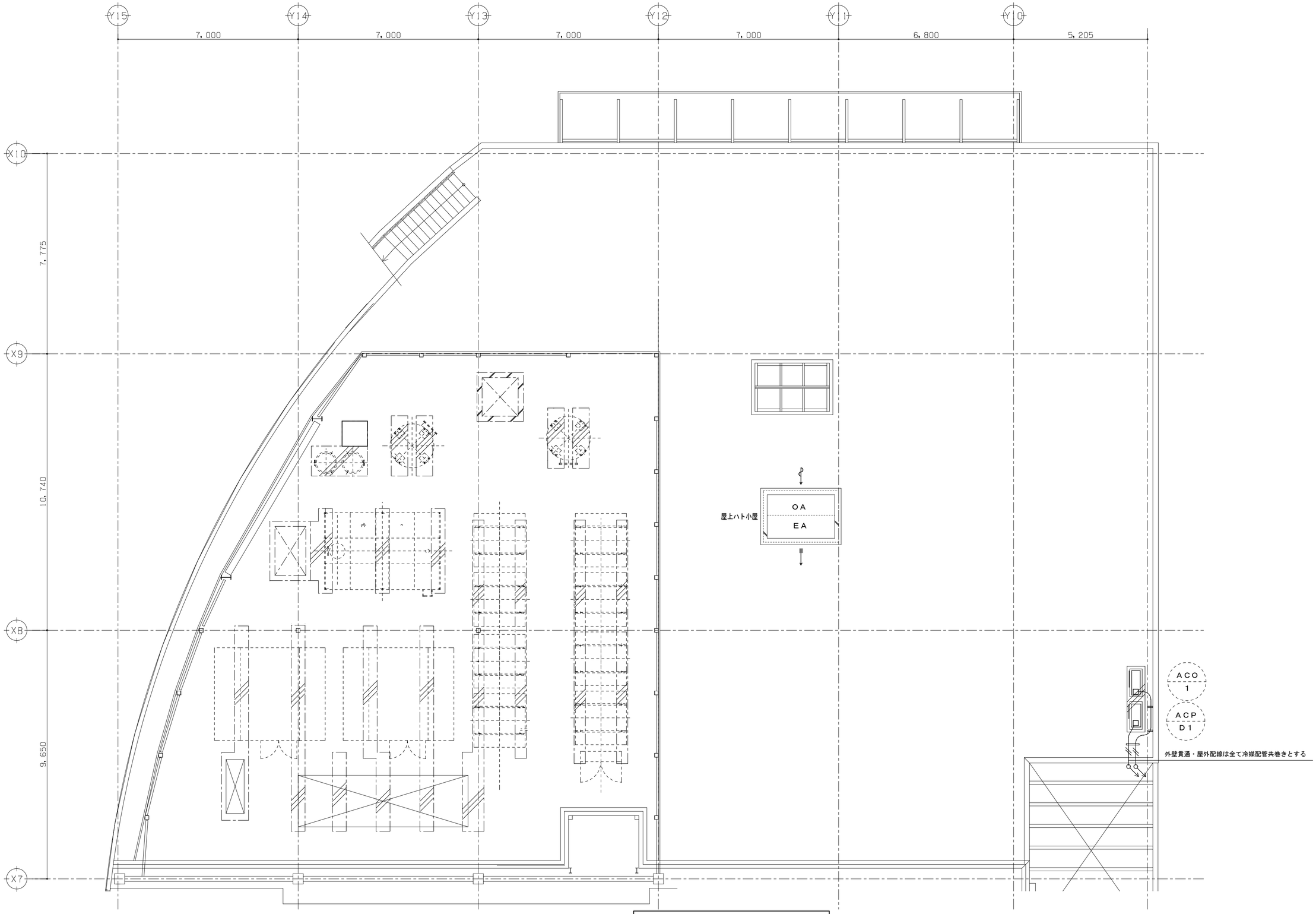
（ 凡　例 ）

室内機リモコン配線 EM-CEE-S1.25sq-2C
（天井内ころがし及び冷媒管共巻きとする
なおﾘﾓｺﾝ用ｹｰﾌﾞﾙ各室立下げは要領図による）

Ⓡ 個別ワイヤードリモコン

※ 室内外機の渡り、リモコンの線種・線数等は
参考として採用メーカーの仕様に準じること


X9
X8
X7
Y15
Y14
Y13
Y12
Y11
Y10
+1,580
+3,708
+1,000
+3,708
+1,000
+1,580
+3,708
+1,000
+3,708
+1,000
+1,580
+3,708
+1,000
+3,708
+1,000



屋上　配管図　S＝1／100

業務名称：倉吉市営温水プール改修（機械設備）工事

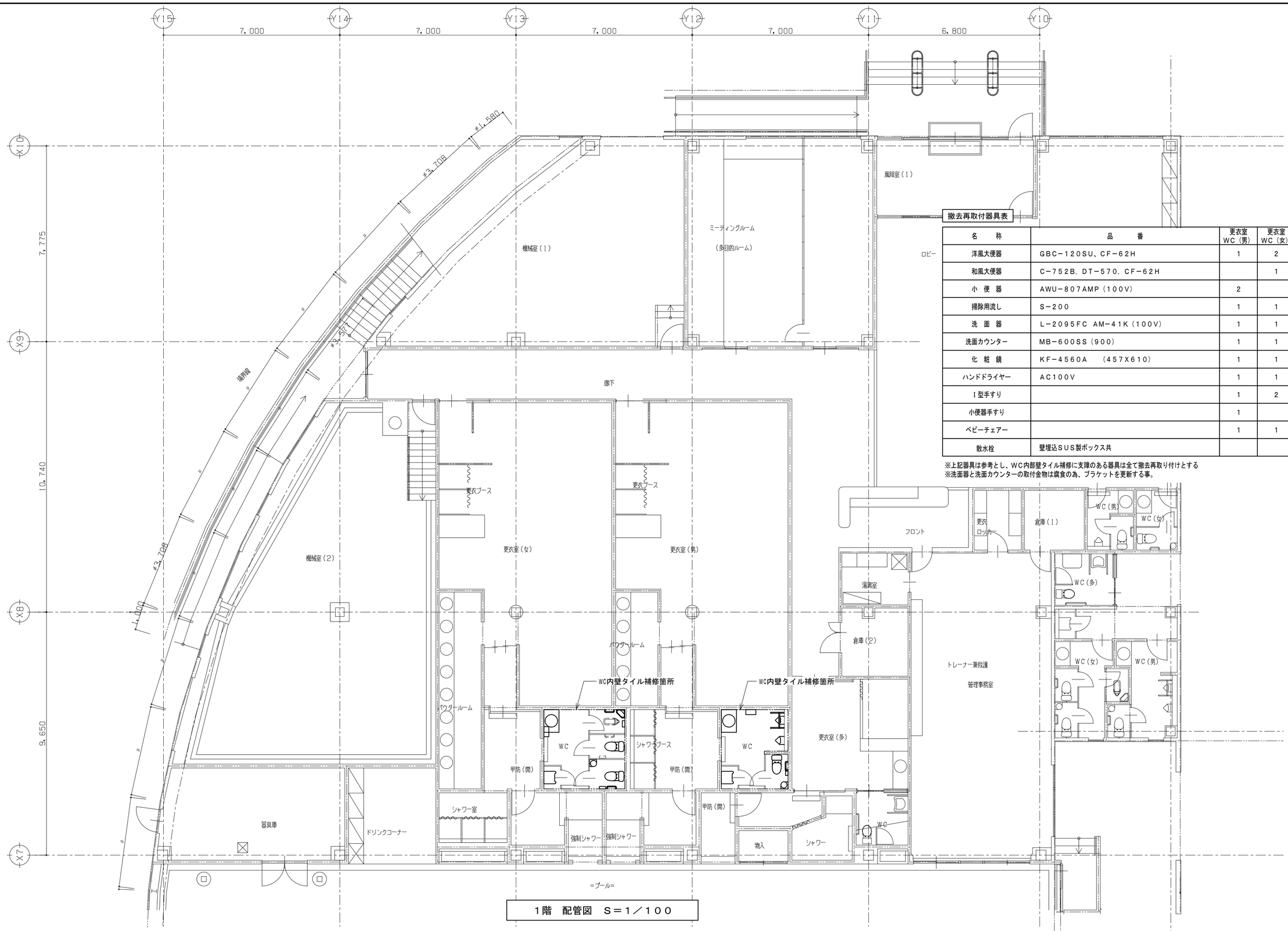
計装設備　改修　屋上配管図

CHECKED BY.

株式会社 白兎設計事務所

鳥取県知事　登録番号　第26-820
管理建築士（一級建築士登録番号　188521）　南　章彦

PROJECT. NO	DATE	
2013K－03	2014.03	一級建築士登録番号 第318668号 田中　一義
DRAWING. NO	SCALE	
M－16	1／100	



1階　配管図　S＝1／100

撤去再取付器具表

名　称	品　番	更衣室 WC（男）	更衣室 WC（女）	プール
洋風大便器	GBC−120SU、CF−62H	1	2	
和風大便器	C−752B，DT−570，CF−62H		1	
小　便　器	AWU−807AMP（100V）	2		
掃除用流し	S−200	1	1	
洗　面　器	L−2095FC　AM−41K（100V）	1	1	
洗面カウンター	MB−600SS（900）	1	1	
化　粧　鏡	KF−4560A　（457X610）	1	1	
ハンドドライヤー	AC100V	1	1	
Ｉ型手すり		1	2	
小便器手すり		1		
ベビーチェアー		1	1	
散水栓	壁埋込ＳＵＳ製ボックス共			1

※上記器具は参考とし、WC内部壁タイル補修に支障のある器具は全て撤去再取り付けとする
※洗面器と洗面カウンターの取付金物は腐食の為、ブラケットを更新する事。

業務名称：倉吉市営温水プール改修（機械設備）工事

衛生設備　改修　撤去再取付器具表

CHECKED BY.

株式会社 白兎設計事務所
鳥取県知事　登録番号　第26−820
管理建築士（一級建築士登録番号　188521）　南　章彦

PROJECT. NO	DATE
2013K−03	2014.03
DRAWING. NO	SCALE
M−17	1/100

一級建築士登録番号
第318668号
田中　一義

凡例

既設点検口

新設点検口４５０□（１８個）

枠組棚足場（５．０m未満）

移動式　簡易型移動式足場（５．０m未満）

衛生設備　撤去再取付散水栓

防火扉の再施工

建具の改造（事務所耐へ、高温多湿の空気の流入を防ぐ）

ガラスのペアガラス化
既設型サッシへ交換
（事務所耐へ、高温多湿の空気の流入を防ぐ）

ガラスシールの再施工
西日対策
カーテンウォール支持鉄材の劣化部分の交換・再塗装

ガラスのペアガラス化
カバー工法による引き違い窓の改造

自動扉から自動式ハンガードアに変更
（事務所耐へ、高温多湿の空気の流入を防ぐ）

ガラスのペアガラス化
カバー工法による引き違い窓の改造

ガラスのペアガラス化
カバー工法による引き違い窓の改造

1階　配管図　S＝1／150

業務名称：倉吉市営温水プール改修（機械設備）工事	CHECKED BY.	PROJECT. NO	DATE
天井点検口・仮設足場配置図		2013K−03	2014. 03
		DRAWING. NO	SCALE
		M−18	1/150

株式会社 白兎設計事務所　鳥取県知事　登録番号　第26−820　管理建築士（一級建築士登録番号　188521）　南　章彦

一級建築士登録番号 第318668号 田中　一義